

取扱説明書

LG Xscreen

LGS02

はじめに

このたびは、当社製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。安全に正しくお使いいただくために、本製品を初めて使う前にこの取扱説明書をよくお読みください。

- 必ず当社指定の周辺機器をお使いください。同梱物は本製品専用設計されており、他の製品との互換性は保証していません。
- 本製品はタッチスクリーンキーボードを採用しており、目の不自由な方には適していません。
- 本書の説明は、製品の初期設定に基づいております。
- 本製品にプリインストールされているアプリは更新される場合があります。また、これらのアプリのサポートは、事前の通知なく打ち切られる場合があります。本製品にプリインストールされているアプリについてご不明な点があれば、J:COM MOBILE専用ダイヤルにお問い合わせください。お客様がインストールされたアプリについては、そのアプリのサービスプロバイダーにお問い合わせください。
- 本製品のOS（オペレーティングシステム）に変更を加えたり、非公式の提供元からソフトウェアをインストールしたりすると、本製品が故障し、データが破損または消失する場合があります。こうした行為は保証の対象外となります。
- 本書の内容およびイラストは、お住まいの地域、ソフトウェアのバージョン、またはOSのバージョンによってお使いの製品と異なる場合があります。また、通知なしに変更されることがあります。

警告表示

 危険	
 警告	P.6の説明を参照ください。
 注意	
メモ	注意点や追加情報です。
ヒント	機能を使用するときの参考情報です。

目次

本書について.....	4	アプリケーション.....	76
本書について.....	4	アプリのインストール／	
商標.....	5	アンインストール.....	76
安全.....	6	最近アンインストールした	
重要な注意事項.....	29	アプリ.....	77
特殊機能.....	34	電話.....	78
セカンドスクリーン.....	34	メッセージ.....	82
クイック共有.....	36	カメラ.....	83
Qメモ+.....	37	ギャラリー.....	90
Qスライド.....	40	電卓.....	93
コンテンツ共有.....	41	天気.....	94
通知制限.....	42	ダウンロード.....	95
着信音ID.....	43	時計.....	95
基本機能.....	44	ボイスレコーダー.....	97
各部の名称.....	44	音楽.....	98
電源をオン／オフにする.....	46	Eメール.....	100
nanoSIMカードを取り付ける.....	47	連絡先.....	102
メモリーカードを取り付ける.....	49	カレンダー.....	104
充電する.....	51	ファイルマネージャー.....	105
効率よくバッテリーを使用する.....	52	タスク.....	106
タッチスクリーン.....	53	Evernote.....	106
ホーム画面.....	57	LG Backup.....	107
画面ロック.....	65	SmartWorld.....	108
端末の暗号化.....	69	Googleアプリ.....	109
メモリーカードの暗号化.....	70	基本設定.....	111
スクリーンショットキャプチャー.....	71	設定.....	111
テキスト入力.....	72	ネットワーク.....	112
		サウンド&お知らせ.....	123
		表示.....	124
		一般.....	125

付録	134
言語設定	134
ソフトウェアの更新	134
同梱物	135
こんなときは	136

本書について

本書について

- 本製品を安全に正しくお使いいただくために、本製品をお使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。
- 本書に掲載されている画像やスクリーンショットの一部は、本製品での見た目と異なる場合があります。
- 本書の内容は、最終的な製品、ソフトウェアの内容と異なる場合があります。また、内容は事前の予告なく変更されることがあります。本書の最新版については、J:COMサポートサイトをご覧ください。
- 本製品のアプリやその機能は、国、地域、ハードウェア機能によって異なる場合があります。当社以外のプロバイダーによって開発されたアプリの使用に起因するいかなる性能の問題についても当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 当社は、レジストリー設定の変更やOSの改造に起因する性能または互換性の問題について責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。OSをカスタマイズしようとする、本製品またはそのアプリが誤動作を起こすことがあります。
- 本製品同梱のソフトウェア、オーディオ、壁紙、画像、その他のメディアには、限定的な使用ライセンスが付与されています。これらの素材を抽出して商用目的またはその他の目的に使用した場合、著作権法違反となる場合があります。ユーザーは、メディアの不正な使用について全面的に責任を負うことをご留意ください。
- メッセージの送受信、アップロード、ダウンロード、自動同期、位置情報サービスなどのデータサービスには追加料金がかかる場合があります。追加料金を避けるには、最適なデータプランをお選びください。詳しくは、J:COM MOBILE専用ダイヤルにお問い合わせください。

商標

- Copyright ©2016 LG Electronics, Inc. All rights reserved. LGおよびLGロゴは、LG Groupと関連各社の登録商標です。その他すべての商標は、対応する保有者の保有物です。
- Google™、Google マップ™、Gmail™、YouTube™、ハングアウト™、Google Play™ は、Google, Inc.の商標です。
- Bluetooth® は、Bluetooth SIG, Inc. の世界各国における登録商標です。
- Wi-Fi® および Wi-Fi ロゴは、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- その他すべての商標と著作権は、対応する保有者の保有物です。

注意：電池の交換に関して

- 本製品に組み込まれた内蔵電池は絶対に取り外さないでください。内蔵電池を交換する必要がある場合は、J:COM MOBILE専用ダイヤルまでお問い合わせください。
- リチウムイオン電池は傷害を引き起こしかねない危険な部品です。
- 正しい知識を持たない人が扱うとお使いの製品を損傷する可能性があります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ・ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ・ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- ・次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

-  **危険** この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷^{※1}を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
-  **警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷^{※1}を負う可能性が想定される」内容です。
-  **注意** この表示は、取り扱いを誤った場、「軽傷^{※2}を負う可能性が想定される場合および物的損害^{※3}の発生が想定される」内容です。

※1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

・次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。



禁止(してはいけないこと)を示します。



分解禁止

分解してはいけないことを示します。



水濡れ禁止

水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。



濡れ手禁止

濡れた手で扱ってはいけないことを示します。



指示

指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。



電源プラグ
を抜く

ACアダプタをコンセントから抜いていただくことを示します。

本体、充電用機器の取り扱いについて(共通)

⚠危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。本製品が液体に濡れた場合は、製品内部のラベルの色が変わります。この場合、保証の対象外となり有償修理となりますので、ご注意ください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

本製品に使用するACアダプタやUSBケーブルなどの周辺機器は当社が指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります



禁止

充電／外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所に立ち入る場合は必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。



使用中、充電中、保管時に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは次の作業を行ってください。

- ・ ACアダプタをコンセントから抜く。
- ・ 本製品の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがなどの原因となります。



湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



お子様が使用する場合は、保護者の方が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。



乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。



本製品を長時間連続使用される場合や充電中はご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本製品やACアダプタの温度が高くなることがあります。その時はしばらく使用しないでください。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどなどの原因となったりする恐れがあります。

本体の取り扱いについて

本製品の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険



火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

禁止

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

禁止

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



内蔵電池内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

指示

失明などの原因となります。

⚠警告



本製品内のnanoSIMカードやメモリーカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本製品を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度な音量に調節してください。

音量が大きすぎると難聴などの原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください。電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



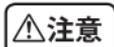
万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本製品の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがなどの原因となります。



内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



本製品が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

誤ってディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診療を受けてください。

また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹼などで洗い流してください。



禁止

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

本製品で使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所		使用材質	表面処理
外装 ケース	ディスプレイ	Glass	—
	フロント ケース	PC-GF5	UTコーティング
	リアケース	EP-GF50	—
電源／ロックキー		PC+ウレタン	UTコーティング
音量キー		PC+ウレタン	UTコーティング
フロントカメラ		Glass	—
カメラレンズ		アクリル	—



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下などの原因となります。



禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

充電用機器の取り扱いについて



警告



禁止

ACアダプタやUSBケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタとUSBケーブルは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したらACアダプタには触れないでください。

感電などの原因となります。



通電中のUSBケーブルの充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



ACアダプタやUSBケーブルのコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



ACアダプタに海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



本製品にUSBケーブルを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でACアダプタやUSBケーブルに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

**指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合も当社指定のACアダプタで充電してください。**

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ：AC100V～240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)



電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

指示

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

指示

火災、やけど、感電の原因となります。



ACアダプタをコンセントから抜く場合はACアダプタやUSBケーブルを引っ張るなど無理な力を加えず、ACアダプタの横を持って抜いてください。

指示

ACアダプタやUSBケーブルを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



本製品にUSBケーブルを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する充電／外部接続端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

指示

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用しない場合はACアダプタをコンセントから抜いてください。

電源プラグ
を抜く

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



万が一、ACアダプタやUSBケーブルに水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が入った場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。

電源プラグ
を抜く

火災、やけど、感電などの原因となります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

電源プラグ
を抜く

火災、やけど、感電などの原因となります。

△注意



禁止

コンセントにつないだ状態のACアダプタに長時間触れないでください。

やけどなどの原因となります。

nanoSIMカードの取り扱いについて

△注意



指示

nanoSIMカードを取り扱う際は切断面にご注意ください。

けがなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

△警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本製品の電子銘板に表示されております。

電子銘板は、本製品で次の手順でご確認いただけます。

ホーム画面で ○ → 「設定」 → 「一般」 → 「規制と安全に関する情報」

電気通信事業者の回線設備の整備状況によっては、VoLTE緊急通報機能が利用できない場合があります。

雷が鳴り出したら、本製品の使用を中止して、USBケーブルとACアダプタをコンセントから抜いてください。

落雷により、深刻な障害や火災が発生する恐れがあります。

自動車、原動機付自転車、自転車運転中は非常に危険ですので、本製品を操作したり、電話番号の検索など、本製品を使用しないでください。

自動車用のエアバッグ近くに本製品を置いたり、ハンズフリーカーキットを設置しないでください。エアバッグが作動する場合にケガをする恐れがあります。

お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。

- ・ 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ・ ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- ・ アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

充電／外部接続端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

充電／外部接続端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

本体などに無理な力がかからないように使用してください。

多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を充電／外部接続端子、イヤホンマイク端子に差し込んだ状態の場合、破損、故障の原因となります。

ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。

傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

本体についてのご願い

本製品に色を塗る場合、外観や画面が破損する原因となります。外観の塗料が剥がれたり本製品の材質に応じてアレルギー反応がある場合は直ちに使用を止め、医師の診療を受けてください。

製品の故障修理の際には端末内部に保存されたデータはすべて消去されます。なお、ソフトウェアのアップデートや何らかの原因により、本製品に保存された主な内容は消去される場合もありますので、重要な電話番号などはあらかじめメモしておいてください。

データの損失による被害は、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

キャラクター／写真／動画などが初期化される場合もあります。

タッチスクリーンの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。

タッチスクリーンが破損する原因となります。

極端な高温、低温は避けてください。

温度は 5℃～ 35℃、湿度は 45% ～ 85%の範囲でご使用ください。

一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

お客様ご自身で本製品に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

故障、破損の原因となります。

充電／外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。

故障、破損の原因となります。

使用中、充電中、本製品は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。

レンズの集光作用により、発火・破裂・火災などの原因となります。また、素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

磁気カードなどを本製品に近づけないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

本製品に磁気を帯びたものを近づけないでください。

強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

内蔵電池は消耗品です。

使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。

内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。

本製品を保管される場合は、次の点にご注意ください。

- ・ フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
- ・ 電池残量なしの状態(本製品の電源が入らない程消費している状態)での保管

内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。

保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。

充電用機器についてのお願い

充電は、適正な周囲温度(5℃~35℃)の場所で行ってください。

次のような場所では、充電しないでください。

- ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
- ・ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

充電中、ACアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

強い衝撃を与えないでください。また、充電／外部接続端子を変形させないでください。

故障の原因となります。

Bluetooth[®]機能を使用する場合のお願い

本製品は、Bluetooth[®]機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth[®]標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth[®]機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

Bluetooth[®]機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

周波数帯について

本製品のBluetooth[®]機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

2.4FH1 / DS4 / OF4

2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

FH/DS/OF：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。

1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

■■■■ ■■■■ ■■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth[®]機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。

3. その他、ご不明な点につきましては、J:COM MOBILE専用ダイヤルまでお問い合わせください。
- ・ Bluetooth[®]ワードマークおよびロゴは、Bluetooth[®] SIG, Inc.が保有する登録商標であり、LG Electronics Inc.は、これら商標を使用する許可を受けています。
 - ・ Wi-Fi[®]、Wi-Fi Direct[®]はWi-Fi Alliance[®]の登録商標です。

無線LAN(WLAN)についてのお願い

無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)
- ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・ 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- ・ WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

2.4GHz 機器使用上の注意事項

WLAN 搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、J:COM MOBILE専用ダイヤルまでお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、J:COM MOBILE専用ダイヤルまでお問い合わせください。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種【LG X screen LGS02】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準*ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific

Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.353W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.317W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。

このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ：

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>

○一般社団法人電波産業会のホームページ：

<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

○LG Electronics Inc.ホームページ：

本製品の「仕様」のページをご確認ください。

<http://www.lg.com/jp/mobile-phone>

(URLは予告なく変更される場合があります。)

※ 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

オープンソースソフトウェア通知情報

本製品に搭載されているGPL、LGPL、MPL、およびその他のオープンソースのライセンスのもとで開発されたソースコードを取得するには、<http://opensource.lge.com> をご参照ください。ソースコードをはじめ、該当するすべてのライセンスの内容や著作権の表示、保証責任がないという表示をダウンロードできます。本製品をお買い求めてから3年以内に、本製品に搭載されているソフトウェアのオープンソースコードをEメール(opensource@lge.com)にてお求めになる場合、媒体の費用や送料など、必要な最小限の費用をお支払いいただきながら、CD-ROMにてご提供いたします。

貴重な金属を再利用し、地球環境を守るために、不要になった本製品は廃棄せず、最寄の充電式電池リサイクル協力店へお持ち下さい。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

ホームページ：<http://www.jbrc.com>

重要な注意事項

本製品を使い始める前に必ずお読みください

本製品に関するお問い合わせをいただく前に、現在生じている問題がここで説明されているかどうかご確認ください。

1. 本製品のメモリ

本製品のメモリの使用状況を確認して、不要なアプリをアンインストールするなどして、メモリの空き容量を確保してください。

アプリのアンインストール

- 1 ○ → 「設定」 → 「一般」 → 「アプリ」
インストールされているアプリが表示されます。
- 2 アンインストールするアプリを選択
- 3 「アンインストール」 → 「OK」

2. 内蔵電池寿命の最適化

内蔵電池は、必要のないバックグラウンド機能の設定をオフにすることで、電池の寿命を延ばすことができます。また、アプリやシステムが内蔵電池の電力をどのように消費しているかを監視できます。

内蔵電池の寿命を延ばすために

- Wi-Fi[®]、Bluetooth[®]、GPSなどのワイヤレス通信を利用しないときは設定をオフにしてください。
- 画面の明るさを下げ、画面タイムアウトまでの時間を短くします。

- Gmail、カレンダー、連絡先、およびその他のアプリの自動同期の設定をオフにします。
- ダウンロードしたアプリによっては、電池を消費する場合があります。
- ダウンロードしたアプリをお使いの間、電池の充電レベルに注意してください。

3. オープンソースのアプリやOSをインストールする前に

警告

- 製造元提供以外のOSをインストールして使用した場合、本製品が故障するおそれがあります。さらに、保証の対象外となります。
- 本製品と個人データを保護するため、アプリはGoogle Playなどの信頼できる提供元からのみダウンロードしてください。誤った方法でアプリをインストールすると、本製品が正常に動作しなかったり、深刻なエラーが発生したりするおそれがあります。そのようなアプリとすべての関連データ、設定は、本製品からアンインストールする必要があります。

4. 画面ロックの使用

画面ロックを設定して本製品のセキュリティを保護します。

○ → 「設定」 → 「表示」 → 「画面のロック」 → 「画面ロックを選択」の順にタップし、スワイプ、ロックコード、パターン、PIN、パスワードから目的の方法を選択します。画面ロックの種類を忘れたときの安全対策として、バックアップPINを作成できます。

警告

画面ロックを使用する場合の注意事項

設定した画面ロックの設定は忘れないでください。誤った画面ロックを5回入力すると、本製品にアクセスできなくなります。ロック解除のパターン、PIN、パスワードは、5回まで入力することができます。5回連続して間違えた場合は、30秒後に再試行できます。

パターン、PIN、またはパスワードを忘れた場合

<パターンを忘れた場合>

正しいパターンを5回連続で入力できなかった場合、画面下部に表示される「パターンを忘れましたか?」をタップしてください。次に、パターンを選択したときに入力したバックアップPINを入力してください。

バックアップPINを忘れた場合は、ハードリセットを実行する必要があります。

<PINまたはパスワードを忘れた場合>

PINまたはパスワードを忘れた場合、ハードリセットを実行する必要があります。

注意: ハードリセットを実行すると、ユーザーアプリおよびユーザーデータがすべて削除されます。また、初期設定を行う際、ハードリセット前に本製品で登録したGoogleアカウント情報を再度入力する必要があります。詳細は [7. 盗難防止ガイド](#) をご参照ください。

5. ハードリセットの実行(工場出荷状態へのリセット)

本製品のロックを解除できなくなった場合は、ハードリセット(工場出荷状態へのリセット)を実行して初期化します。

- 1 本製品の電源をオフにする
- 2 最初に「音量を下げるキー 」を押した状態で、本製品の右側にある「電源/ロックキー 」を、LGロゴが表示されるまで押し続ける
- 3 LGロゴが表示されたら、キーをすべて離す
- 4 すぐに「電源/ロックキー 」、「音量を上げるキー 」、「音量を下げるキー 」を同時に長押しする
- 5 工場出荷状態へのリセット画面が表示されたら、「音量キー  」のどちらかを押してカーソルを「Yes」まで移動させ、「電源/ロックキー 」を押す
- 6 もう一度「音量キー  」のどちらかを押して、カーソルを「Yes」まで移動させ、「電源/ロックキー 」を押して確定する
- 7 ハードリセットが実行される

警告

ハードリセットを実施すると、ユーザーアプリ、ユーザーデータ、およびDRMライセンスがすべて削除されます。こうした状況を避けるため、ハードリセット実行前に重要なデータはこまめにバックアップしておくことをお勧めします。

6. 画面がフリーズした場合

画面がフリーズしたり、操作中に応答しなくなったりした場合は、「電源/ロックキー 」と「音量を下げるキー 」をLGロゴが表示されるまで10秒以上押し続け、本製品を再起動します。問題が解決しない場合は、J:COM MOBILE専用ダイヤルにお問い合わせください。

7.盗難防止ガイド

他者に許可なく端末を工場出荷時の状態にリセットされて使用されないように設定します。たとえば、端末が紛失、盗難、または消去された場合、Googleアカウントまたは画面ロック情報を持つ者のみが端末を使用することができます。

端末を確実に保護するために、以下のことが必要です：

- 画面ロックを設定：端末が紛失または盗難されても、画面ロックが設定されていると、画面ロックが解除されない限り設定メニューを使用して端末をリセットすることはできません。
- 端末にGoogleアカウントを追加：端末にGoogleアカウントがあると、端末のリセット時にGoogleアカウント情報が再度入力されるまで設定処理は完了できません。

端末を保護すると、工場出荷時の状態へのリセットが必要になった場合、画面のロック解除またはGoogleアカウントのパスワードの入力が求められます。

これにより、あなたまたは信用できる人がリセットを実行できるようになります。

メモ

- 工場出荷時の状態へのリセットを実行する前に、端末に追加した Google アカウントとパスワードは忘れないようにしてください。設定処理中にアカウント情報を入力できないと、工場出荷時の状態にリセットした後に端末を使用できなくなってしまう。

特殊機能

セカンドスクリーン

メイン画面がオフのときに、日付、時刻、電池残量、通知などの便利な情報を表示することができます。

セカンドスクリーン機能

- ・メイン画面がオンのときに、セカンドスクリーンに表示する機能を設定できます。(署名、クイックツール、最近使ったアプリ、アプリのショートカット、クイック連絡先、ミュージックプレイヤー、予定)
- ・全画面表示のアプリを起動中に、セカンドスクリーンで通知を表示したり、機能を使用したりすることができます。
- ・写真の撮影中などにコントロールパネルを使用することができます。
- ・メイン画面がオフの状態では本製品を伏せると、セカンドスクリーンが非表示になります。



セカンドスクリーン

セカンドスクリーン機能をオン/オフにする

セカンドスクリーン機能をオン/オフにし、表示する項目を選択できます。

○ → 「設定」 → 「表示」 → 「セカンドスクリーン」

- **メイン画面がONの時に表示する**：メイン画面オン時にセカンドスクリーンに表示するコンテンツを選択します。マルチタスクの便利な機能が提供されます。
- **メイン画面がOFFの時に表示する**：メイン画面オフ時にセカンドスクリーンに表示するコンテンツを選択します。常に便利な情報が表示され、よく使用する機能を素早く起動することができます。
- **その他 → コンテンツ閲覧中の時刻表示**：画像や動画などのコンテンツを閲覧しているときに、時刻や端末状態を表示します。

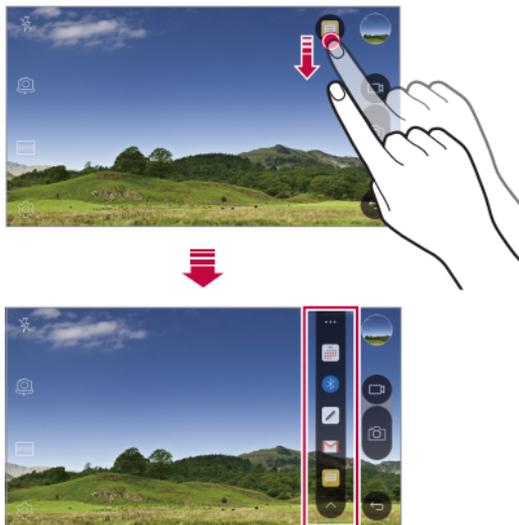
クイック共有

写真や動画を撮影した直後に目的のアプリと共有できます。

- 1 ○ → ● をタップし、撮影または録画する
- 2 写真や動画を撮影した後に表示されるクイック共有アイコン(例: ●)をドラッグして、共有するアプリを選択する
または、写真や動画を撮影した後に表示されるプレビューアイコンをロングタッチして、それをクイック共有アイコン(例: ●)にドラッグします。

メモ

- クイック共有アイコン(例: ●)で表示されるアプリは、端末にインストールされたアプリのタイプやアクセス頻度によって異なる場合があります。
- この機能は、自動モードで写真または動画を撮影する場合のみ使用できます。詳細は**自動撮影モード**をご参照ください。



Qメモ+

Qメモ+について

画像管理やスクリーンショットなど、標準のノートパッドでは対応していない高度な機能でさまざまなオプションを使用してクリエイティブなノートを作成することができます。

メモを作成する

1 ○ →「Qメモ+」

2 ⊕ をタップしてメモを作成

- ✓：メモを保存します。
- ←：最後の操作を元に戻します。
- ↶：前回元に戻した操作をやり直します。
- T：キーボードで入力します。
- ✎：手書きに変更します。
- ✂：手書きした部分を削除します。
- ◯：手書きノートの一部を拡大／縮小、回転、または消去します。
- ⋮：ノートの共有およびロック、ペーパースタイルの変更、コンテンツの挿入などの追加オプションを利用します。

3 ✓ をタップしてメモを保存

写真上でメモする

- 1 ○ → 「Qメモ+」
- 2  をタップして写真を撮影する。そして、「OK」をタップする
 - 写真は自動的にノートパッドに添付されます。
- 3 写真の上に自由にメモを書く
- 4 ✓ をタップしてメモを保存

スクリーンショット上でメモする

- 1 キャプチャーしたい画面が表示されているときに、ステータスバーを下にドラッグして「キャプチャー+」をタップする
 - スクリーンショットがノートパッドの背面のテーマとして表示されます。セカンドスクリーンにメモツールが表示されます。
- 2 スクリーンショット上でメモする
 - 画面の一部をトリミングして保存するには、⋮ → 「切り取り」をタップ → トリミングツールを選択 → トリミング部分を指定します。
 - スクリーンショットをメモ帳に添付するには、⋮ → 「テキスト」をタップします。
- 3 ✓ をタップし、保存場所を選択する
 - 保存されたデータは「Qメモ+」や「ギャラリー」で確認できます。
 - いつも同じ場所にノートを保存するには、「この操作をデフォルトで使用する」チェックボックスを選択してアプリを選択します。

フォルダを管理する

ノートの種類ごとにグループ分けされたノートを表示できます。

- 1 ○ →「Qメモ+」
- 2 画面上部にある ≡ をタップし、メニュー項目を選択する
 - **すべてのメモ**：「Qメモ+」に保存しているメモを表示します。
 - **マイメモ**：「Qメモ+」で作成したメモを表示します。
 - **写真メモ**：📷 で作成したメモを表示します。
 - **キャプチャー+**：「キャプチャー+」で作成したメモを表示します。
 - **新カテゴリ**：カテゴリを追加します。
 - ⚙️：カテゴリを再配置、追加、または削除します。カテゴリの名前を変更するには、カテゴリをタップします。

メモ

- 「Qメモ+」の初回起動時に、一部のフォルダが表示されません。関連するノートが1つ以上格納されると、無効だったフォルダは有効になり、表示されます。

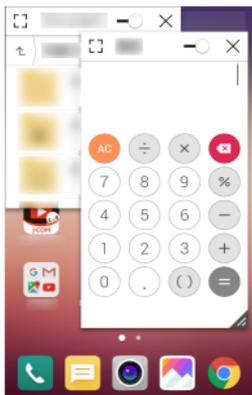
Qスライド

同じ画面にいくつかのアプリを同時に表示して、それらを切り替えることができます。たとえば、動画を再生中に電卓やカレンダーを使用できます。

Qスライドを使うには、アプリのメニューアイコン(例: ⋮)→「Qスライド」をタップします。

メモ

- Qスライドを利用できるアプリは以下のとおりです。
電卓、ファイルマネージャー、カレンダー、動画、Eメール、メッセージ、連絡先、電話



- [] : 全画面表示にします。
- 〇 : Qスライドウィンドウの透明度を調整します。Qスライドウィンドウが透明な場合、タッチ入力に応答しません。
- × : Qスライドを閉じます。
- ▲ : Qスライドの画面サイズを調整します。

コンテンツ共有

コンテンツを再生

端末のコンテンツをテレビで再生できます。写真、音楽、動画などの保存されたコンテンツを再生できます。

- 1 Wi-Fi[®]ネットワークで本製品とテレビを接続
- 2 ギャラリーやミュージックアプリからファイルを選択し、 → 「他のデバイスで再生」をタップ
- 3 テレビと接続

メモ

- ・ Chromecastを使用するには、Google Playを最新バージョンに更新してください。

ファイルを送受信する

端末に保存されたファイルを別のLG端末またはタブレットと送受信できます。

ファイルを受信するには、ステータスバーを下にドラッグして「ファイル共有」をタップします。

ファイルの共有をサポートしていない端末の場合は、○ → 「設定」 → 「ネットワーク」 → 「共有と接続」 → 「ファイル共有」 → 「SmartShare Beam」の  をタップしてオンにしてください。

メモ

- ・ 両方のデバイスが同じWi-Fi[®]ネットワークに接続されていると、ファイルをより高速に送信できます。
- ・ ファイルの送信先はLG端末でなくてもDLNAに対応する端末またはタブレットであれば送信できます。
- ・ 一部の端末ではご利用いただけない場合があります。

他のデバイスにファイルを送信する

- 1 ファイルを選択し、 →「SmartShare Beam」
 - ファイルリストから  をタップ→ファイルを選択→「共有」→「SmartShare Beam」をタップすると同じ操作ができます。
- 2 SmartShare Beamに対応する近くのデバイスのリストからデバイスを選択
 - ファイルが送信されます。

近くのデバイスを使用する

近くのデバイスに保存されているマルチメディアファイルを表示および再生できます。

- 1 ギャラリーアプリまたはミュージックアプリで、 を選択し、「周辺デバイス」をタップ
- 2 デバイスリストから、デバイスを選択
 - デバイスリストから目標のデバイスが見つからない場合、DLNAをオンにして、「周辺デバイス検索」をタップしてください。
- 3 選択したデバイスに保存しているデータを利用

通知制限

特定の期間、通知による割込みを防ぐために通知を制限または消音することができます。

- 1 ○ →「設定」→「サウンド&お知らせ」→「通知制限」→ 
- 2 「サウンドとバイブ」をタップし、モードを選択する
 - **重要な通知のみ鳴動**：設定したアプリは、サウンドまたはバイブで通知を受信します。「重要な通知のみ鳴動」がオンの場合でも、アラームは鳴ります。
 - **サイレント**：サウンドとバイブの両方を無効にします。

着信音ID

選択した連絡先からの各着信には設定した着信音が自動的に再生されるように端末を設定できます。これは着信音が聞こえただけで発信者がわかるので便利です。

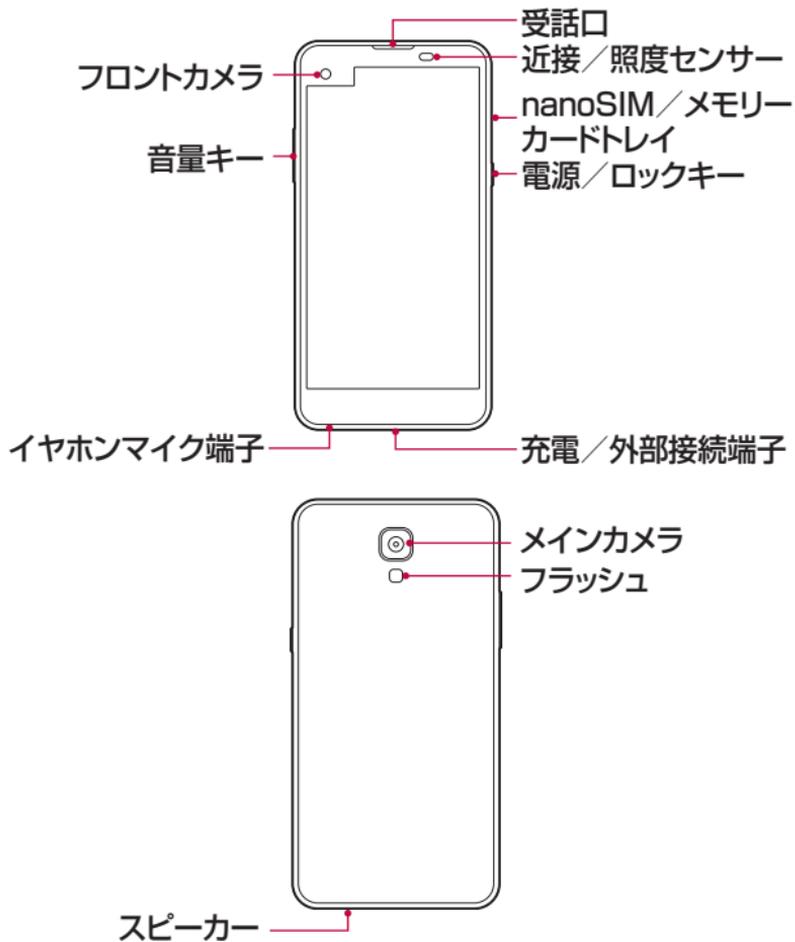
- 1 ○ →「設定」→「サウンド&お知らせ」→「着信音ID」→  をタップ
- 2 「着信音を作成する連絡先:」をタップし、必要な項目を選択

メモ

- ・ 選択した種類以外の連絡先からの着信には、標準の着信音が再生されません。

基本機能

各部の名称



- 近接／照度センサー
 - 近接センサー：端末に人の体が近づくと、近接センサーにより画面をオフにしてタッチ機能を無効にします。端末が特定の範囲から離れると、画面はオンに戻りタッチ機能は有効になります。
 - 照度センサー：明るさ自動コントロールモードがオンの場合、照度センサーは光の強度を分析します。
- 音量キー
 - 着信音、通話音や通知音の音量を調整します。
 - カメラアプリで「音量キー  」を押すと、写真を撮影します。「音量キー  」を長押しすると、連続撮影ができます。
 - 画面ロック時または画面オフ時に、「音量を下げるキー 」を2回押すと「カメラ」が起動されます。「音量を上げるキー 」を2回押すと「キャプチャー+」アプリが起動されます。
- 電源／ロックキー
 - 画面オン／オフにする場合、「電源／ロックキー 」を押します。
 - 「電源／ロックキー 」を長押しし、電源制御オプションを選択します。

メモ

- 端末の仕様により、一部の機能はアクセスが制限される場合があります。
- 端末に重いものを載せたり、端末の上に座ったりしないでください。タッチスクリーン機能が破損する可能性があります。
- 画面保護フィルムまたはアクセサリは、近接センサーに干渉する可能性があります。
- 端末が濡れている場合、または湿度の高い場所で使用している場合、タッチセンサーまたはボタンが正常に機能しない可能性があります。

電源をオン／オフにする

電源をオンにする

「電源／ロックキー」を長押しします。

メモ

- 端末の電源を初めてオンにすると、初期設定が実行されます。初めての起動時間は、通常より長くなる可能性があります。

電源をオフにする

「電源／ロックキー」を長押し、「電源を切る」を選択します。

電源制御オプション

「電源／ロックキー」を長押し、以下の項目を選択します。

- **電源を切る**：端末をオフにします。
- **再起動**：端末を再起動します。
- **機内モードON**：電話の通話、メッセージ、インターネットへのアクセスなど、テレコミュニケーション関連の機能をブロックします。その他の機能は引き続き利用できます。

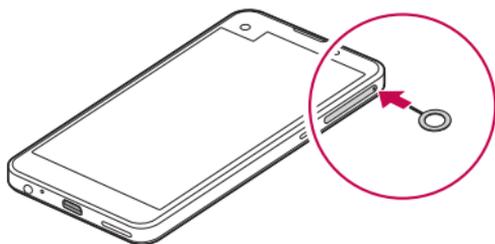
メモ

- 端末を操作しようとしたときに画面がフリーズする場合、または端末が応答しない場合、「電源／ロックキー」と「音量を下げるキー」を約10秒間長押しして端末を再起動してください。

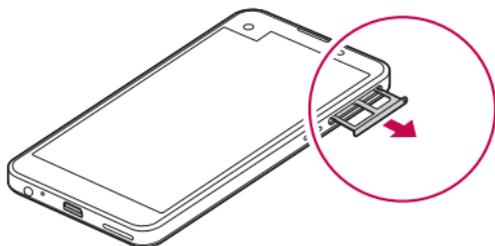
nanoSIMカードを取り付ける

サービスプロバイダーから提供されたnanoSIMカードを正しく使用してください。

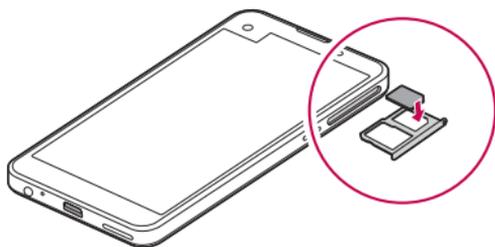
- 1 SIM取り出しピンをカードトレイの穴に差し込む



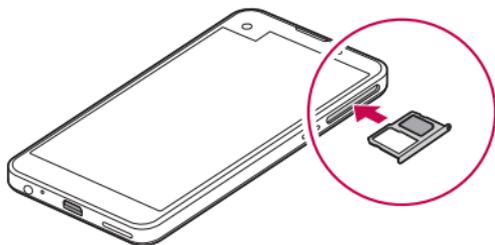
- 2 nanoSIM/メモリーカードトレイを引き出す



- 3 金属(IC)面を下向きにしてnanoSIMカードをカードトレイの上に置く



- 4 nanoSIM/メモリーカードトレイをスロットに差し込む



メモ

- 本製品は nanoSIM カードのみ利用可能です。
- パフォーマンスに問題がないように、正しい種類の SIM カードで端末を利用することをおすすめします。必ず通信事業者が提供する nanoSIM カードをご利用ください。

nanoSIMカードの使用に関する注意事項

- nanoSIMカードは紛失しないでください。当社はnanoSIMカードの紛失または移行に起因する損害またはその他の問題について一切責任をいけません。
- nanoSIMカードを挿入または取り外すときは、破損しないように気を付けてください。

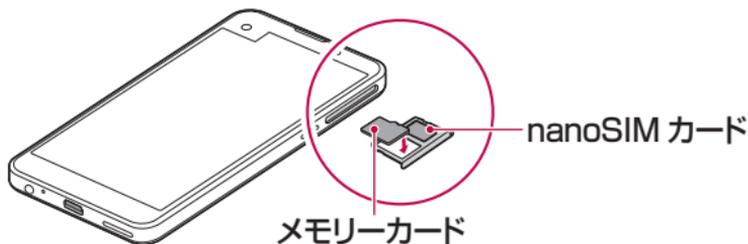
メモリーカードを取り付ける

本製品は最大200GBまでのメモリーカードに対応しています。メモリーカードのメーカーまたは種類によっては、端末と互換性がない場合があります。

⚠ 注意

- 一部のメモリーカードは、端末と完全には互換性がない場合があります。互換性のないカードを使用すると、端末またはメモリーカードが故障したり、そこに保存されたデータが破損する場合があります。

- 1 SIM取り出しピンをカードトレイの穴に差し込む
- 2 nanoSIM／メモリーカードトレイを引き出す
- 3 金色の金属部を下向きにしてメモリーカードをカードトレイの上に置く



4 nanoSIM／メモリーカードトレイをスロットに差し込む

メモ

- ・メモリーカードは別売品です。
- ・データを頻繁に書き込みおよび消去すると、メモリーカードの寿命が短くなる可能性があります。

メモリーカードを取り外す

メモリーカードを取り外す前に、メモリーカードのマウントを解除する必要があります。

- 1 ○ → 「設定」 → 「一般」 → 「ストレージとUSB」 → △
- 2 SIM取り出しピンをカードトレイの穴に差し込む
- 3 nanoSIM／メモリーカードトレイを引き出し、メモリーカードを取り外す

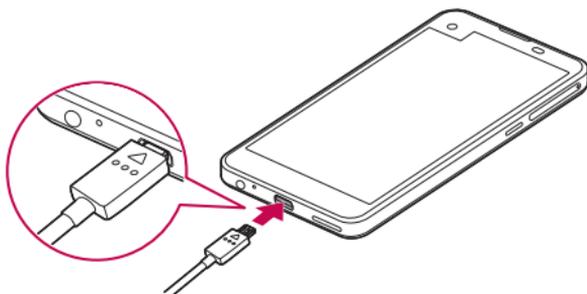
⚠ 注意

- ・端末で情報を転送またはアクセス中に、メモリーカードを取り外さないでください。データの消失または破損の原因となったり、メモリーカードまたは端末が破損する可能性があります。当社はメモリーカードの乱用または不適切な利用に起因するデータ損失などの損害について一切責任を負いません。

充電する

使用する前には、完全に充電してください。

充電ケーブルの一方の端子をACアダプタに接続し、他方の端子を充電／外部接続端子に挿入してから、ACアダプタをコンセントに挿入します。



⚠ 警告

- 必ず当社指定の USB ケーブルを使用してください。
- USB ケーブルを接続する際は、ケーブルのアイコンが上向きになっていることを確認してください。間違えてケーブルを接続すると、端末が破損する可能性があります。
- 必ず当社指定の AC アダプタ、および充電ケーブルを使用してください。当社指定の AC アダプタ以外で充電すると、内蔵電池が爆発したり端末が破損する可能性があります。
- 充電中に端末を使用すると、感電の原因となる場合があります。端末を使用する場合は、充電を停止してください。

メモ

- 端末の充電が完了したら、ACアダプタをコンセントから取り外してください。不要な電力の消費が抑えられます。
- 端末をデスクトップ PC やノート PC と USB ケーブルで接続することで、バッテリーを充電することもできます。この方法は、一般的なバッテリーの充電方法より時間がかかる場合があります。
- 定格電圧を維持できない USB ハブを使用してバッテリーを充電しないでください。充電が失敗したり、意図せず停止する場合があります。

効率よくバッテリーを使用する

多数のアプリまたは機能を同時に連続的に実行すると、バッテリーの寿命が低下する可能性があります。

バッテリーを長持ちさせるには、バックグラウンド操作をキャンセルしてください。

バッテリーの消費を抑えるには、以下のヒントに従ってください。

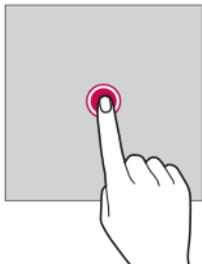
- 使用しない場合、Bluetooth[®]機能やWi-Fi[®]ネットワークをオフにしてください。
- 画面のタイムアウトはなるべく短い時間に設定してください。
- 画面の明るさは最小限に抑えてください。
- 端末を使用しない場合、画面ロックにしてください。
- ダウンロードしたアプリを使用する場合は、電池残量を確認してください。
- セカンドスクリーン機能をオフにしてください。詳細は[セカンドスクリーン](#)をご参照ください。

タッチスクリーン

タッチスクリーンジェスチャーを使用して、端末の操作方法に習熟することができます。

タップ

指先で軽くタップすると、アプリまたはオプションを選択または実行できます。



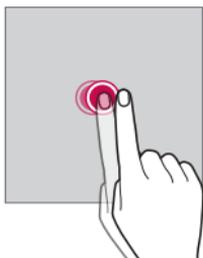
ロングタッチ

数秒間長押しすると、非表示の機能を実行できます。



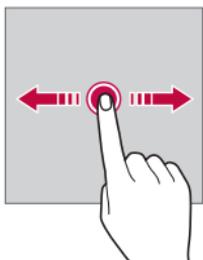
ダブルタップ

素早く2回タップすると、写真やマップが拡大または縮小します。



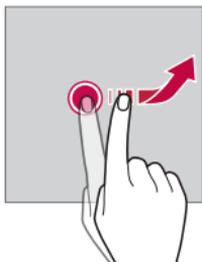
スワイプ

アプリやウィジェットなどのアイテムを長押ししてから、別の場所にスワイプします。このジェスチャーを使用して、アイテムを移動できます。



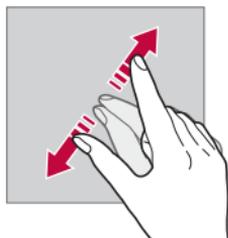
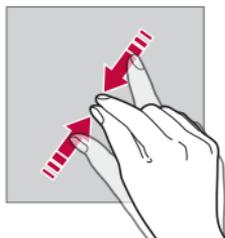
フリック

画面を軽く長押しして左または右にフリックすると、別のパネルに素早く移動できます。



ピンチイン／ピンチアウト

2本の指をせばめると、写真やマップなどが縮小します。拡大するには、指を広げます。



⚠ 注意

- タッチスクリーンが激しい衝撃を受けないようにしてください。タッチセンサーを損傷する恐れがあります。

メモ

- 端末を磁石、金属または導電材の近くで使用すると、タッチスクリーンに障害が発生する可能性があります。
- 直射日光などの明るい光の下で端末を使用すると、位置によっては画面が見えなくなる場合があります。端末は、本を読める程度の明るすぎない環境光のある場所や日陰になった場所で使用してください。
- 強い力で画面をタップしないでください。
- 確認する項目を指で軽くタップします。
- 手袋を着用してタップしたり爪先でタップすると、タッチコントロールが正常に機能しない可能性があります。
- 画面に湿気があったり濡れていると、タッチコントロールが正常に機能しない可能性があります。
- 一般的なオンラインショップや店舗で購入した画面保護フィルムやアクセサリが端末に取り付けられていると、タッチスクリーンが正常に機能しない可能性があります。

ホーム画面

ホーム画面について

ホーム画面は、端末のさまざまな機能やアプリにアクセスするためのスタート画面です。任意の画面で **○** をタップすると、直接ホーム画面に移動します。

ホーム画面ですべてのアプリおよびウィジェットを管理できます。画面を左右にスワイプすると、インストールされているすべてのアプリを一度に表示できます。

アプリを検索する場合は、Google検索を使ってください。

ホーム画面のレイアウト

ホーム画面にすべてのアプリを表示してウィジェットやフォルダを整理することができます。



メモ

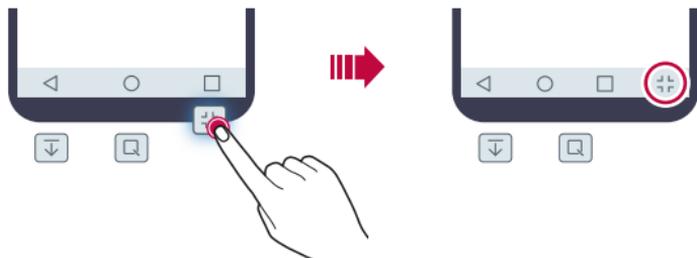
- サービスプロバイダーやソフトウェアのバージョンによって、ホーム画面が異なる場合があります。
- セカンドスクリーン：画面上部のセカンドスクリーンで、お気に入りのアプリを設定できます。セカンドスクリーンを設定して、お気に入りのアプリを素早く簡単に実行してみてください。
- ステータスバー：ステータスアイコン、時刻と電池残量を表示します。
- ウィジェット：ホーム画面にウィジェットを追加すると、アプリをわざわざ一つずつ実行することなく、必要な情報に素早くアクセスできます。
- フォルダ：フォルダを作成すると、好みに応じてアプリをグループ分けできます。
- ページアイコン：ホーム画面のページ合計数とハイライト表示されている現在のページが表示されます。
- クイックボタンエリア：ホーム画面からアクセスできるように画面の下部にメインアプリを固定します。
- ホームタッチボタン
 - ◀：前の画面に戻ります。また、キーパッドやポップアップ画面を閉じます。
 - ：ホーム画面に戻ります。ロングタッチすると、Google Nowにアクセスします。
 - ：最近使用したアプリのリストを表示して、そのリストからアプリを実行できます。「すべて消去」をタップすると、最近使用したすべてのアプリを終了できます。一部のアプリでは、このボタンをロングタッチすると追加オプションにアクセスできます。

ホームタッチボタンを編集する

ホームタッチボタンを並べ替えたり、よく使用する機能をホームタッチボタンに追加することができます。

○ → 「設定」→ 「表示」→ 「ホームタッチボタン」→ 「ボタンの配列」をタップし、設定をカスタマイズできます。

- Qスライド、お知らせ、キャプチャー+など、いくつかの機能が提供されています。最大5つのボタンを追加できます。



ステータスアイコン

未読のメッセージ、カレンダーイベント、アラームの通知などがある場合、ステータスバーに対応する通知アイコンが表示されます。ステータスバーに表示される通知アイコンを見て端末の状態を確認できます。

- : ネットワーク信号なし
- : データネットワーク使用中
- : アラーム設定中
- : バイブレーションのみ
- : Bluetooth[®] オン
- : USB経由でPCに接続中
- : 電池残量
- : 機内モードオン
- : 不在着信あり
- : Wi-Fi[®] ネットワーク接続中
- : サイレントモードオン
- : GPS オン
- : Wi-Fi[®] テザリングオン
- : nanoSIMカード未挿入

メモ

- これらの一部のアイコンは、端末の状態により異なって表示されたりまったく表示されない場合があります。端末で使用する実際の環境に応じてアイコンを参照してください。
- 表示されるアイコンは、地域やサービスプロバイダーによって異なる場合があります。

通知パネル

ステータスバーを下にドラッグすることで、通知パネルを開くことができます。

通知パネルのクイックアクセスアイコンを使用すると、素早く簡単に機能をオンまたはオフにすることができます。

クイックアクセスアイコンのリストで左または右にドラッグして、必要な機能を選択します。

- アイコンをロングタッチすると、対応する機能の設定画面が表示されます。



通知パネルを設定する

通知パネルに表示する項目を設定できます。

通知パネルで  をタップします。

- クイックアクセスアイコンを並べ替えるには、アイコンをロングタッチしてそれを別の位置にドラッグします。
- リストに表示するアイコンを選択します。

画面表示の方向を切り替える

端末の向きに応じて画面の向きを自動的に切り替えるように設定できます。

通知パネル上で、クイックアクセスアイコンのリストから「回転」をタップします。

○ → 「設定」 → 「表示」で自動回転に設定すると同じ操作ができます。

ホーム画面を編集する

ホーム画面で何もない場所をロングタッチして、表示された項目をタップします。

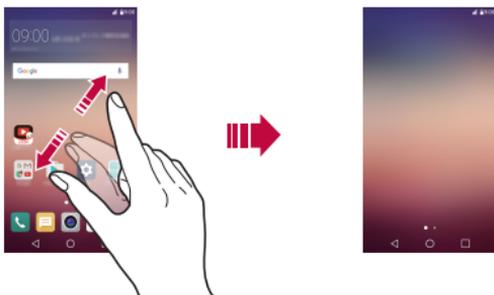
- ホーム画面ページを並べ替えるには、ページをロングタッチしてそれを別の位置にドラッグします。
- ウィジェットをホーム画面に追加するには、「ウィジェット」をタップしてホーム画面にドラッグします。
- ホーム画面を設定する場合、「ホーム画面設定」をタップし、設定をカスタマイズします。詳細は[ホーム画面の設定](#)をご参照ください。
- 過去24時間にアンインストールしたアプリを再インストールするには、「アンインストール済みアプリ」をタップしてリストからアプリを選択します。詳細は[最近アンインストールしたアプリ](#)をご参照ください。

壁紙を表示する

アプリとウィジェットを隠し、壁紙を表示できます。

ホーム画面を押さえながら2本の指を広げます。

- アプリおよびウィジェットを表示するオリジナル画面に戻るには、ホーム画面で指をピンチインするか ◀ をタップします。



ホーム画面でアプリを移動する

ホーム画面で、アプリをロングタッチし、目的の位置までドラッグして指を離します。

- ホーム画面の下部によく使用するアプリを留めておくには、アプリをロングタッチして下部のクイックボタンエリアにドラッグします。
- クイックボタンエリアからアイコンを削除するには、アイコンをホーム画面にドラッグして指を離します。

ホーム画面上のフォルダを利用する

フォルダを作成する

ホーム画面で、アイテムをロングタッチし、まとめたいアプリ上までドラッグして指を離します。

- 新しいフォルダが作られ、両方のアプリがフォルダに追加されます。

フォルダを編集する

ホーム画面で、フォルダをタップして使用するアプリを起動します。

- フォルダ名、フォルダの色を編集する場合、フォルダ名をタップしてください。
- アプリをフォルダから取り除くには、アプリをロングタッチしてフォルダの外にドラッグします。フォルダにアプリが1つしか残っていない場合、フォルダは自動的に消えます。

ホーム画面の設定

ホーム画面の設定をカスタマイズします。

1 ○ → 「設定」 → 「表示」 → 「ホームスクリーン」

2 設定をカスタマイズする

- **ホーム選択**：ホーム画面モードを選択します。
- **壁紙**：ホーム画面の壁紙を変更します。
- **スクリーン効果**：ホーム画面のページが切り替わる時に適用されるエフェクトを選択します。
- **テーマ**：テーマを設定します。SmartWorldからテーマをダウンロードできます。
- **並べ替え条件**：ホーム画面で、名前順やダウンロード順でアプリを並べ替えます。
- **グリッド**：ホーム画面のアプリの配置モードを変更します。
- **アプリの非表示**：ホーム画面で非表示にするアプリを選択または選択解除します。

画面ロック

画面ロックについて

「電源／ロックキー」を押すと、端末の画面はオフになりロックされます。画面ロックが設定されていない場合、「電源／ロックキー」を押すと端末の画面がオフになります。

セキュリティを強化して端末への意図しないアクセスを防止するためにも、画面ロックは設定してください。

メモ

- 画面ロックにより、端末の画面の不要なタッチ入力が防止され、バッテリーの消費が抑えられます。端末を使用しない間は、画面ロックを有効にすることをおすすめします。

画面ロックに関する設定

画面ロックの設定に使用できるいくつかのオプションがあります。

- → 「設定」→ 「表示」→ 「画面のロック」→ 「画面ロックを選択」をタップし、画面ロック方法を選択する
- 画面ロック設定をカスタマイズする
 - なし**：画面ロックを無効にします。
 - スワイプ**：画面をスワイプして画面のロックを解除します。
 - ノックコード**：画面のロックを解除するパターンに従って画面をタップします。
 - パターン**：パターンを描画して画面のロックを解除します。
 - PIN**：数字のパスワードを入力して画面のロックを解除します。
 - パスワード**：英数字のパスワードを入力して画面のロックを解除します。

メモ

- ・パターンを使用して画面ロックを設定するには、バックアップ PIN を作成します。正しいパターンを 5 回連続で入力できなかった場合、バックアップ PIN を使用して画面のロックを解除することができます。
- ・画面ロックがロックコード、パターン、PIN、またはパスワードを使用して設定されている場合、5 回連続で正しくない PIN またはパスワードを入力すると、パスワードの入力が 30 秒間ブロックされます。

画面ロック設定

ロック画面設定をカスタマイズします。

1 ○ →「設定」→「表示」→「画面のロック」

2 設定をカスタマイズする

- ・ **画面ロックを選択**：画面ロックの種類を選択します。
- ・ **Smart Lock**：信頼できる事象のいずれかが発生したときに自動的に端末のロックが解除されるように、信頼できる事象を選択します。
- ・ **スワイプエフェクト**：画面のロックが解除されたときに適用される画面トランジションエフェクトを設定します。画面のロック方法を「スワイプ」に設定すると、このオプションが表示されます。
- ・ **壁紙**：ロック画面の壁紙を設定します。
- ・ **ショートカット**：スワイプロック画面のショートカットを変更します。画面のロック方法を「スワイプ」に設定すると、このオプションが表示されます。
- ・ **天気のアニメーション**：現在地が雨または雪だった場合に、ロック画面でアニメーションを表示します。
- ・ **紛失時の連絡先**：緊急連絡先情報をロック画面で表示します。
- ・ **ロックタイマー**：画面がタイムアウトした後、自動的にロックするまでの時間を設定します。
- ・ **電源ボタンですぐにロックする**：「電源／ロックキー」を押すと即座に画面がロックされます。

メモ

- ・利用可能な設定項目は、選択された画面ロックの種類によって、異なる場合があります。

ノックオン

画面をダブルタップして、画面のオンとオフを簡単に切り替えることができます。

メモ

- ・このオプションは、LG で提供されるホーム画面でのみ利用できます。カスタムランチャーまたはユーザーがインストールしたホーム画面では、この機能は正常に動作しない可能性があります。
- ・画面をタップするには指先を使用してください。爪を使わないようにしてください。
- ・ノックオン機能を使用する場合、近接／照度センサーがシールなどものに遮られないようにしてください。

画面をオンにする

画面中央を素早く2回タップします。

- ・画面上部または下部をダブルタップすると、認識されない場合があります。

画面をオフにする

ホーム画面やロック画面で何も表示されていない領域をダブルタップします。

ステータスバーで何も表示されていない領域をダブルタップすると同じ操作ができます。

ノックコード

ノックコード機能を使用すると、画面上のノック操作を組み合わせることで独自のロック解除コードを作成できます。

メモ

- ・ノックコードはノックオン機能と同時に使用できます。
- ・5回連続で正しくないノックコードを続けて入力した場合、バックアップPINを使用してロックを解除することができます。
- ・指先を使用してください。

ノックコードを作成する

- 1 ○ →「設定」→「表示」→「画面のロック」→「画面ロックを選択」→「ノックコード」
- 2 「次へ」
- 3 選択したパターンで四角をタップしてノックコードを作成し、「次へ」をタップ
- 4 確認のため作成したノックコードを再度入力して、「確認」をタップ
- 5 「次へ」
- 6 バックアップ用PINコードを設定する

ノックコードで画面ロックを解除する

ノックコードとして設定した一連の操作を行い画面ロックを解除します。

画面オフ時に、設定した一連の操作を行い画面ロックを解除します。

- ・画面オンの場合でも、ノックコードを使用できます。

端末の暗号化

端末を暗号化する

携帯端末の暗号化が設定されていても、データの読み取り、書き込み、およびコピーができます。ロック設定で端末がオンになったときにユーザーIDの入力画面が表示されるように端末を設定できます。

携帯端末の暗号化の注意事項

ロック画面で端末のロックを使用して、端末の保護レベルを強化することができます。

メモ

- 端末のロックがオンのときに指定された回数を超えて正しくないパスワードを入力すると、端末は自動的に初期化されます。
- 復号パスワードを忘れた場合は、端末を初期化してください。初期化すると、初期化前に保存されていたすべてのデータが削除されます。
- 暗号化を完成する前に中止すると、データを損失する恐れがあります。

メモリーカードの暗号化

メモリーカード上のデータを暗号化して保護できます。その際、他のデバイスで暗号化したデータを使えなくなります。

- 1 ○ →「設定」→「一般」→「セキュリティ」→「SDカードの暗号化」
- 2 表示される内容を確認し、「次へ」をタップ
- 3 オプションを選択し、「今すぐ暗号化する」をタップ
 - **新しいファイルの暗号化**：暗号化後にメモリーカードに保存されたデータのみが暗号化されます。
 - **全体の暗号化**：メモリーカードに保存されているすべてのデータを暗号化します。
 - **メディアファイルを除外する**：音楽、写真、ビデオなどメディアファイル以外のデータを暗号化します。

メモ

- メモリーカードを暗号化する前に、画面ロック種類をPINまたはパスワードに設定する必要があります。
- メモリーカードの暗号化が開始されると、一部の機能は利用できない場合があります。
- 暗号化中に端末がオフになると、暗号化処理は失敗し、一部のデータが破損する可能性があります。そのため、暗号化を開始する前に必ず電池残量が十分であるか確認してください。
- 暗号化されたファイルは、暗号化するときの端末のみアクセス可能になります。
- 暗号化されたメモリーカードは、別の LG 端末で使用することはできません。別のモバイル端末で暗号化されたメモリーカードを使用するには、メモリーカードを初期化します。
- メモリーカードが端末に取り付けられていなくても、メモリーカードの暗号化を有効にすることはできます。暗号化の後に取り付けられたメモリーカードは、自動的に暗号化されます。

スクリーンショットキャプチャー

表示画面のスクリーンショットをキャプチャーできます。

ショートカットを使用する

「音量を下げるキー」と「電源/ロックキー」を同時に2秒以上長押しすると、スクリーンショットをキャプチャーできます。

- キャプチャーした画面は「ギャラリー」の「Screenshots」フォルダで確認できます。

キャプチャー+を使用する

キャプチャーしたい画面で、ステータスバーを下にドラッグして、「キャプチャー+」をタップします。

メモ

- ○ → 「設定」 → 「一般」をタップし、「ショートカットキー」をオンにすると、画面オフまたは画面ロックの状態で、「音量を上げるキー」を2回押すとキャプチャー+を起動できます。
- 詳細はスクリーンショット上でメモするをご参照ください。

テキスト入力

テキスト(文字)の入力方法

スクリーンキーボードは、テキスト(文字)入力が必要な画面で自動的に表示されます。スクリーンキーボードを手動で表示する場合は、テキスト(文字)を入力するテキストフィールドをタップします。

The image shows a screenshot of the Japanese on-screen keyboard (iWnn IME) with several callouts explaining its features:

- Google音声入力を使います。** (Use Google Voice Input.) - Points to the microphone icon at the top left.
- 絵文字や顔文字などを入力します。** (Enter emojis and emoticons, etc.) - Points to the emoji icon at the top left.
- 英字・数字のキーボードに切り替わります。ロングタッチするとiWnn IMEメニューが開き、キーボードタイプを選択できます。** (Switches to the English/number keyboard. Long touch opens the iWnn IME menu, allowing selection of keyboard types.) - Points to the keyboard type indicator at the bottom left.
- キーボードの高さや幅を変更します。** (Change keyboard height or width.) - Points to the top corners of the keyboard.
- 前の文字を削除します。** (Delete the previous character.) - Points to the 'X' delete key.
- スペースを挿入します。** (Insert space.) - Points to the spacebar.
- 改行します。** (Carriage return/enter.) - Points to the return key.

キーボードの表示を変更する

キーボードの高さを調整すると、画面の表示領域を拡大してキーボードをより簡単にコントロールできます。

- キーボード右上部をタップし、 をドラッグして表示する大きさや高さを調整します。
- キーボードの  をタップし、上部をドラッグしてキーボードを移動します。
- キーボードの  をタップし、 をタップすると表示の濃さを変更できます。

メモ：

- テンキーキーボード、QWERTYキーボード、50音キーボード以外のカスタマイズはできません。

特殊文字の入力

QWERTYキーボード(英語キーボード)を使用すると、特殊文字(「á」など)が入力できます。

たとえば「á」を入力するには、「a」キーをロングタッチします。特殊文字を含む候補が表示されるので、目的の特殊文字を選択します。

音声入力する

キーボード上で、 を選択します。

メモ

- 音声コマンドを最適に認識させるには、正しい発音とアクセントで明瞭に話してください。
- 音声入力する場合、ネットワークに接続する必要があります。
- 音声入力の言語を選択する場合、音声入力画面で  をタップします。
- この機能はサポートされていないことがあります。または、サポートする言語は、サービスエリアに応じて異なる場合があります。

コピー／ペースト

アプリからテキストを切り取りまたはコピーして、同じアプリ内に貼り付けることができます。また、別のアプリを実行してそこに貼り付けることもできます。

- 1 コピー／切り取りするテキストをロングタッチする
- 2  /  をドラッグし、コピー／切り取りする範囲を調整する
- 3 「コピー」または「切り取り」を選択する
 - コピー／切り取りしたテキストは「クリップボード」に自動的に追加されます。
- 4 テキスト入力フィールドをロングタッチして、「貼り付け」を選択する

メモ

- コピー／切り取りしていない場合、「貼り付け」が表示されません。

クリップボードの使用

画像またはテキストをコピーまたは切り取ると、自動的にクリップボードに保存され、任意の場所に何回でも貼り付けることができます。

- 1 テキスト入力フィールドをロングタッチして、「クリップボード」を選択する
- 2 クリップトレイからアイテムを選択して貼り付ける
 - 最大20件のアイテムをクリップボードに保存できます。
 - 凸 をタップすると、保存されたアイテムが最大数を超えても削除されないようにロックされます。最大10件のアイテムをロックできます。ロックしたアイテムを削除するには、そのアイテムのロックを解除してください。
 - 凹 をタップし、クリップボード上に保存する内容を削除できます。

メモ

- クリップボード機能は一部のアプリに対応していません。

アプリケーション

アプリのインストール／アンインストール

アプリをインストールする

アプリストアでアプリを検索／ダウンロードします。

- 「SmartWorld」、「Playストア」、またはサービスプロバイダーから提供されるアプリストアを利用してください。

メモ

- 一部のアプリストアの利用は、アカウントの作成／サインインが必要です。
- 一部のアプリは有料です。
- モバイルデータ通信を使用すると、料金プランによってはデータの使用に料金が発生する可能性があります。
- サービスプロバイダーやサービスエリアによっては、「SmartWorld」を使用できない場合があります。

アプリをアンインストールする

使用しないアプリを端末からアンインストールします。

メモ

- 一部のアプリはアンインストールできません。

アプリのロングタッチでアンインストールする

ホーム画面で、アンインストールするアプリをロングタッチして、画面上部にある「アンインストール」までドラッグします。

- アンインストールから24時間まで経過していない場合、アプリを再インストールできます。詳細は[最近アンインストールしたアプリ](#)を参照してください。

設定メニューからアンインストールする

○ → 「設定」→「一般」→「アプリ」をタップします。そして、アプリを選択し、「アンインストール」をタップします。

アプリストアでアンインストールする

アプリストアからダウンロードしたアプリをアンインストールします。

最近アンインストールしたアプリ

ホーム画面でアンインストールしたアプリを確認できます。アンインストールから24時間まで経過していない場合、アプリを再インストールできます。

1 ○ → 「最近アンインストールしたアプリ」

2 以下の機能を実行する

- 再インストール：アンインストールしたアプリを再インストールします。
- 𠂆：端末からアンインストールしたアプリを完全に削除します。

メモ

- アンインストールしたアプリは、アンインストールしてから24時間後に端末から自動的に削除されます。アンインストールしたアプリを再インストールする場合は、再度アプリストアからダウンロードする必要があります。
- この機能は、標準のホーム画面モードでのみ有効です。easy ホーム画面モードまたはその他のランチャーを使用している場合、アプリをアンインストールすると、そのアプリは端末から即座に完全に削除されます。

電話

音声通話

電話をかけるには、電話番号を手動で入力、連絡先や最近の通話履歴から発信などの方法を使用できます。

キーパッドで電話をかける

- 1 ○ →  → 「ダイヤル」
- 2 好みの方法で電話を発信する
 - 電話番号を入力し、 をタップします。
 - 短縮ダイヤル番号をロングタッチします。
 - 連絡先一覧にある連絡先の名前の最初の文字をタップして連絡先を検索し、 をタップします。

メモ

- 国際電話をかけるときなど「+」を入力したい場合は、「0」キーをロングタッチしてください。
- 短縮ダイヤルリストに電話番号を追加する詳細は[短縮ダイヤルリストに連絡先を追加する](#)を参照してください。

連絡先一覧から電話をかける

- 1 ○ →  → 「連絡先」
- 2 連絡先一覧から連絡先を選択し、 をタップ

電話を受ける

着信中画面で、 を表示される円の外側までドラッグし、電話を受けます。

- ステレオヘッドセットが接続されている場合、ヘッドセットの通話／終了ボタンを使用して通話することができます。
- ○ → 「設定」 → 「ネットワーク」 → 「通話設定」 → 「着信応答と終話」をタップし、「電源キーで終話」に設定すると、「電源／ロックキー  」を押すことで通話を終了できます。

着信を拒否する

着信中画面で、 を表示される円の外側までドラッグし、着信を拒否します。

- 拒否メッセージを送信するには、「応答拒否メッセージ」を円の外側にドラッグします。
- ○ → 「設定」 → 「ネットワーク」 → 「通話設定」 → 「着信拒否」 → 「応答拒否メッセージ」をタップすると、着信拒否メッセージを追加／編集できます。
- 着信中に「音量キー   」または「電源／ロックキー  」を押すと、着信音やバイブが止まります。

不在着信を確認する

不在着信がある場合、画面上部のステータスバーに  が表示されます。

不在着信の詳細を確認する場合、ステータスバーを下にドラッグします。また、○ →  → 「通話履歴」をタップしても、不在着信の詳細を確認できます。

通話中に使用可能な機能

通話中に、画面上のボタンをタップすることで、様々な機能を利用できます。

- **保留**：通話を一時保留にします。
- **終了**：通話を終了します。
- **ダイヤルパッド**：ダイヤルパッドを表示／非表示します。
- **スピーカー**：スピーカーをオンにします。
- **ミュート**：相手に聞こえないように自分の声を消音します。
- **Bluetooth**：Bluetooth[®]デバイスを使用して電話をかけることができます。Bluetooth[®]デバイスが接続されていることを確認してください。
- **録音**：通話中の音声を録音します。
- **⋮**：多数の通話オプションなどにアクセスできます。

メモ

- 地域およびサービスプロバイダーによって、利用可能な設定項目は異なる場合があります。

通話履歴を確認する

最近の通話記録を表示するには、○ →  → 「通話履歴」をタップします。ここで、以下の機能を使用できます。

- 詳細な通話記録を表示するには、連絡先を選択します。選択した連絡先に電話を発信するには、 をタップします。
- 履歴を削除する場合、⋮ → 「削除」をタップします。

メモ

- 通話時間の長さにより、通話料金が異なる場合があります。詳細については、サービスプロバイダーにお問い合わせください。

通話設定

さまざまな通話オプションを設定できます。

- 1 ○ →  → 「ダイヤル」または「通話履歴」
- 2 ∴ → 「通話設定」をタップし、必要な設定を行う

メッセージ

メッセージを送信する

メッセージアプリを使用してメッセージを作成し、選択した連絡先またはすべての連絡先に送信することができます。

メモ

- ・海外にメールを送信すると、追加料金が発生する可能性があります。詳細は、サービスプロバイダーにお問い合わせください。

- 1 ○ → 
- 2 
- 3 送信先を編集し、メッセージを作成する
 - ・ をタップすると、メニューが表示されます。
- 4 「送信」をタップし、メッセージを送信する

メッセージを確認する

受信したメッセージを表示できます。

- 1 ○ → 
- 2 メッセージ一覧から連絡先を選択する

メッセージの各種設定を変更する

好みに合わせて、メッセージの設定を変更できます。

- 1 ○ → 
- 2 メッセージ一覧画面で、 → 「設定」をタップ

カメラ

カメラを起動する

写真や動画を撮影し、記憶に残る瞬間を保存します。

○ → ● をタップします。

メモ

- 写真を撮影する前に、マイクロファイバー製の布でカメラのレンズを拭いてください。カメラのレンズを指で触れると、写真が不鮮明になる場合があります。
- 電池残量が 5% 未満になった場合、カメラを使用する前に充電してください。
- ここで掲載されている画像は、実際の端末のものと異なる場合があります。
- 写真および動画は、ギャラリーで表示または編集できます。詳細は、[ギャラリーについて](#)を参照してください。

カメラの切り替え

撮影シーンに応じて、フロントカメラとメインカメラ切り替えます。

カメラ画面で、 をタップするか、または上下左右のいずれかにドラッグすると、フロントカメラとメインカメラが切り替わります。

メモ

- 自分撮りする場合は、フロントカメラを使用します。詳細は[自分撮り](#)をご参照ください。

シンプルモード

画面をタップするだけで、写真を撮影できます。

- 1 カメラ画面で、セカンドスクリーンの「SIMPLE」をタップ
- 2 被写体をフレームに収めて、画面をタップ

自動撮影モード

さまざまな撮影モードおよびオプションを選択して、写真および動画を撮影することができます。

- 1 カメラ画面で、セカンドスクリーンの「AUTO」をタップ
- 2 写真撮影の場合、 をタップする。動画撮影の場合、 をタップする

フラッシュをオン/
オフにします。

フロントカメラと
メインカメラを切
り替えます。

撮影モードを選択
します。

カメラを設定します。



撮影した写真/動
画を表示します。

動画撮影します。

写真撮影します。

前の画面に戻し
ます。

写真撮影

- 1 撮影モードを選択して、カメラの焦点を当てる被写体をタップする
- 2  をタップし、写真を撮影する
「音量キー   」を押しても、同じ操作ができます。

メモ

- 画面がオフまたはロックされているときに、「音量を下げるキー  」を2回押すとカメラが起動します。この機能を有効にするには、 → 「設定」→ 「一般」をタップして「ショートカットキー」をオンにします。

動画撮影

- 1 撮影モードを選択して、カメラの焦点を当てる被写体をタップする
- 2 
 - 動画撮影中に写真を撮影する場合、 をタップします。
 - 撮影を一時停止するには  をタップします。一時停止中に  をタップすると、撮影を再開できます。
- 3 撮影を終了するときには、

パノラマ

カメラを写真の一方方向に移動してパノラマ写真を撮影し、連続的な写真を広視野な写真として作成できます。

- 1 自動撮影モード画面で、「モード」→「パノラマ」
- 2  をタップして、カメラを一方方向にゆっくり移動する
 - 端末をガイドラインの矢印の方向に移動します。
- 3  をタップし、撮影を終了する



連続撮影

連続的に写真を撮影して、動画を作成できます。

自動撮影モード画面で、 をロングタッチします。

-  を押している間、連続写真が高速で撮影されます。

メモ

- 最大で30枚の写真を連続撮影できます。

カメラを設定する

好みに合わせて、さまざまなカメラオプションをカスタマイズできます。

自動撮影モード画面で、 をタップします。

メモ

- 設定できる項目は、使用しているカメラによって異なります。

	写真の縦横比または動画の画質を選択します。
	一定時間後に自動的に写真が撮影されるようにタイマーを設定します。
	音声コマンドで写真を撮影します。 (「チーズ」、「スマイル」、「撮ります」のいずれかを選択できます) • 発音のしかたにより音声コマンドが正しく認識されない場合があります。 音声コマンド機能をオンにするときに表示される「ボイスシャッター」画面で発音するキーワードの  をタップすると、正しい発音を音で確認できます。
	縦横の基準線に沿って写真や動画を撮影できるように、ガイドグリッドを表示します。

 / 	<p>写真および動画を保存する場所を設定します。メモリーカードが挿入されている場合に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">•  : 内部ストレージに保存します。•  : メモリーカードに保存します。
 / 	<p>自動撮影するかどうかを設定します。フロントカメラでの撮影中に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">•  : ジェスチャーショット機能で撮影します。•  : カメラが顔を認識すると撮影します。
 / 	<p>画像を左右反転で保存します。フロントカメラでの撮影中に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">•  : 画像を左右反転で保存します。•  : 画像を左右反転せずに保存します。

自分撮り

フロントカメラを使用して、画面で自分の顔を確認しながら自分撮りすることができます。

メモ

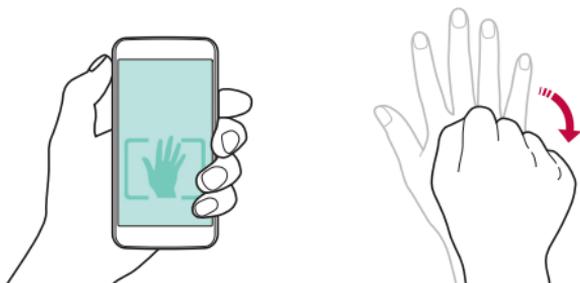
- ・フロントカメラを使用しているときに、カメラオプションで自分撮りの撮影方法を変更できます。詳細は[カメラを設定する](#)をご参照ください。

ジェスチャーショット

ジェスチャーで自分撮りすることができます。

手をパーにしてフロントカメラに向けてから、グーにします。

- ・3秒後に写真が撮影されます。



メモ

- ・この機能を利用する前に、[\[👏\]](#)を選択する必要があります。
- ・自分撮りは、カメラに向けて手をグーにしてからパーにして撮影することもできます。
- ・カメラが認識できるように、パーとグーの形が基準線の中に収まるようにしてください。

インターバル撮影

連続で自分撮りすることができます。

フロントカメラを使用しているときに、 をロングタッチします。または、手をフロントカメラに向けてパーにしてからグーにするという動作を素早く2回行います。

- 3秒間隔で4枚の写真が撮影されます。



自動自分撮り

顔検出機能を使用して、簡単で便利に自分撮りすることができます。被写体が画面を見るとフロントカメラが顔を検出し、自動的に自分撮りするよう
に端末を設定できます。

- カメラが顔を検出すると、フレームが白くなります。被写体が動きを止めると、フレームは青くなりフロントカメラで写真が撮影されます。

メモ

-  をタップしてから、 が表示されるまで  をタップして自動自分撮り機能を有効にします。

ギャラリー

ギャラリーについて

端末上に保存している写真と動画を確認／管理できます。

1 ○ → 

- 保存された写真および動画は、フォルダごとに表示されます。

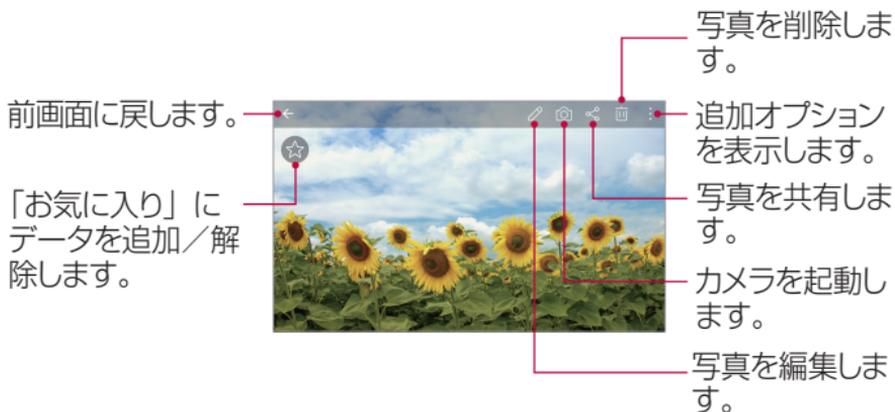
2 フォルダをタップし、ファイルを選択する

- 選択したファイルが全画面で表示されます。
- 表示された写真または動画の画面を左右にスワイプすると、前後のファイルが表示されます。

メモ

- インストールしたソフトウェアによっては、一部のファイル形式に対応していない場合があります。
- エンコードによっては、一部のファイルが開かない場合があります。
- サイズ制限を超えるファイルの表示は、エラーが発生する場合があります。

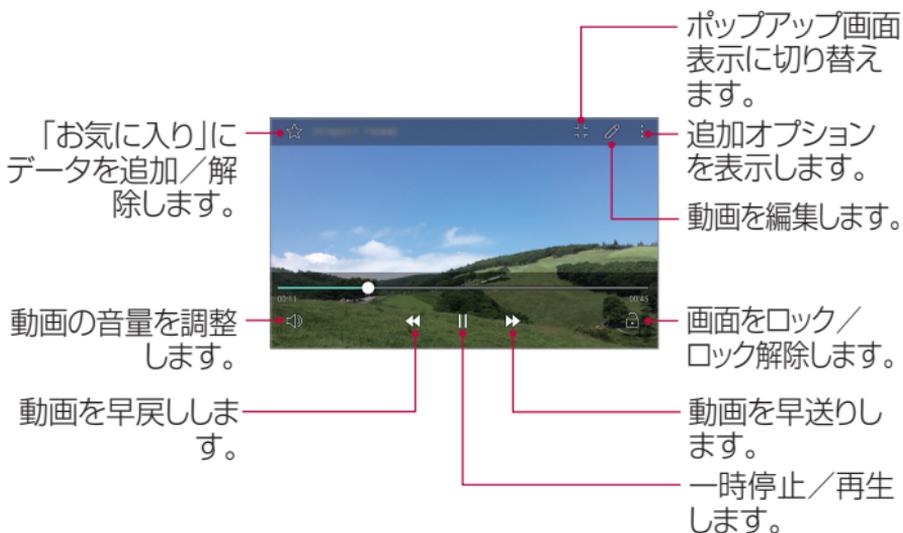
写真を表示する



写真を編集する

- 1 写真を表示し、✎
- 2 さまざまなエフェクトおよびツールを使用して、写真を編集する
- 3 ✓ をタップし、編集を適用する
- 4 「保存」をタップし、ファイルを保存する
 - 元のファイルが上書きされます。
 - 別のファイルとして保存する場合、⋮ → 「コピーを保存」をタップしてください。

動画を再生する



メモ

- 音量を調整するには、動画画面の右側を上下にドラッグします。
- 画面の明るさを調整するには、動画画面の左側を上下にドラッグします。

ファイルを削除する

以下の操作で、ファイルを削除できます。

- ファイルリストで、ファイルをロングタッチし、「削除」をタップします。
- ファイルリストで、 をタップし、ファイルを選択します。

ファイルを共有する

以下の操作で、ファイルを共有できます。

- 写真や動画を表示しているときに、 をタップし、共有方法を選択します。
- ファイルリストから  をタップし、ファイルを選択してお好きな方法で共有できます。

電卓

簡易電卓と関数電卓の2種類の電卓を使用できます。

1 ○ → 「ツール」 → 「電卓」

2 キーボードを利用して、計算する

- 関数電卓を使用する場合、 → 「関数電卓」をタップします。
- 電卓の履歴を確認する場合、 → 「計算履歴」をタップします。

天気

設定した地域の天気情報が表示されます。

1 ○ → 「ツール」 → 「天気」

2 + をタップし、都市を追加する

- 詳細な天気画面で、< / > をタップするか、画面を左または右にスワイプして他の都市の天気を表示します。



ダウンロード

インターネットやアプリでダウンロードしたファイルを確認、削除、または共有します。

○ → 「ツール」 → 「ダウンロード」

時計

アラーム

指定した時刻にアラームが実行されるように設定できます。

- 1 ○ → 「ツール」 → 「時計」 → 「アラーム」
- 2  をタップし、新しいアラームを追加する
- 3 各項目を設定し、「保存」をタップする

メモ

- ・設定済みのアラームを選択して編集できます。
- ・アラームを削除する場合、画面上部の  をタップします。また。アラームをロングタッチしても同じ操作ができます。

ワールドクロック

世界中の都市の現在時刻を表示できます。

- 1 ○ → 「ツール」 → 「時計」 → 「ワールドクロック」
- 2  をタップし、都市を追加する

タイマー

一定時間後にアラームが実行されるようにタイマーを設定できます。

- 1 ○ → 「ツール」 → 「時計」 → 「タイマー」
- 2 時間を設定し、「開始」をタップする
 - 一時停止の場合、「停止」をタップします。停止中に再開する場合、「再開」をタップします。
 - 「リセット」をタップすると、タイマーがリセットされます。
- 3 「停止」をタップし、タイマーを停止する

ストップウォッチ

ストップウォッチを使用して、ラップタイムを記録できます。

- 1 ○ → 「ツール」 → 「時計」 → 「ストップウォッチ」
- 2 「開始」をタップし、ストップウォッチを開始する
 - ラップタイムを計測するには「ラップ」をタップします。
- 3 「停止」をタップし、ストップウォッチを一時停止する
 - ストップウォッチを再開するには、「再開」をタップします。
 - 「リセット」をタップすると、ストップウォッチをやり直しできます。

ボイスレコーダー

重要なイベントであなたの声や他者の声を録音して保存できます。録音した音声ファイルは、再生したり共有することができます。

1 ○ → 「ツール」 → 「ボイスレコーダー」

2 ●

- イベントを追加するには、「予定」をタップし、必要な日付にイベントを追加します。

3 ⊙ をタップし、録音を終了する

- ファイルは自動的に保存され、試聴画面が表示されます。

4 ▶ をタップし、音声を再生する

メモ

- 一時停止する場合、⏸ をタップします。
- 音声の保存場所を確認する場合、📁 をタップします。
- ≡ をタップすると、録音した音声ファイルが表示されます。リストから録音した音声ファイルを再生できます。

音楽

端末上の音楽ファイルを再生／管理できます。

- 1 ○ → 「音楽」
- 2 カテゴリーを選択する
- 3 音楽ファイルを選択する



メモ

- インストールしたソフトウェアによっては、一部のファイル形式に対応しない場合があります。
- ファイルがサイズの制限を超えていると、エラーが発生する場合があります。
- 音楽ファイルは、国際的な著作権所有者または著作権法によって保護されている場合があります。音楽ファイルをコピーする前に、法的な許可を取得する必要がある場合があります。音楽ファイルをダウンロードまたはコピーするには、まず関連する国の著作権法を確認してください。

Eメール

Eメールについて

Eメールアカウントを端末に登録して、端末からEメールを確認したり送信することができます。

メモ

- モバイルデータ通信を使用すると、料金プランによってはデータの使用に料金が発生する可能性があります。詳細は、サービスプロバイダーにお問い合わせください。

メールアカウントを登録する

はじめてEメールアプリを使用するとき、Eメールアカウントを登録します。

- 1 ○ → 「Eメール」
- 2 Eメールのサービスプロバイダーを選択する
- 3 Eメールアドレスとパスワードを入力し、「次へ」をタップしてアカウントを登録する
 - Eメールアカウントを手動で登録、またはリストにないEメールアカウントを登録するには、「手動セットアップ」をタップします

メールアカウントを管理する

メールアカウントを確認／編集する場合、⋮ → 「設定」をタップします。

- メールアカウントを追加する場合、「アカウントを追加」をタップします。
- メールアカウントを削除する場合、⋮ → 「アカウントを削除」をタップします。

他のメールアカウントを開く

いくつかのEメールアカウントが登録されている場合、別のアカウントを表示するには、☰ タップしてアカウントリストから別のアカウントを選択します。

Eメールを確認する

- 1 ☰ をタップし、メールボックスを選択する
- 2 メールリストから、メールを選択する
 - メールの本文が表示されます。

Eメールを送信する

- 1 
- 2 送信先のアドレスを入力する
- 3 件名と本文を入力する
 - 添付ファイルがある場合、📎 をタップしてください。
 - オプションのメニューアイテムにアクセスするには、⋮ をタップします。
- 4 ➤ をタップし、メールを送信する

連絡先

連絡先について

連絡先を追加／管理できます。

○ → 「連絡先」をタップします。

連絡先の追加

新しい連絡先を追加する

- 1 連絡先一覧画面で、+ をタップする
- 2 連絡先を編集し、「保存」をタップする

連絡先をインポートする

他のストレージデバイスから、連絡先をインポートできます。

- 1 連絡先一覧画面で、: → 「その他」→ 「連絡先の管理」→ 「インポート」
- 2 インポートする連絡先のインポート元とインポート先の場所を選択して、「OK」をタップする
- 3 連絡先を選択し、「インポート」を選択する

短縮ダイヤルリストに連絡先を追加する

- 1 連絡先一覧画面で、: → 「短縮ダイヤル」
- 2 使用する短縮ダイヤル番号の「連絡先を追加」をタップする
- 3 連絡先を選択する

連絡先を検索する

以下のいずれかのオプションを使用して、連絡先を検索できます。

- 連絡先一覧画面で、検索ボックスに連絡先の名前を入力します。
- 連絡先一覧を上または下にスクロールします。
- 連絡先一覧画面のインデックスから、連絡先の最初の文字をタップします。

連絡先一覧

連絡先を編集する

- 1 連絡先一覧画面で、連絡先を選択する
- 2 連絡先詳細画面で、✎ をタップし、連絡先を編集する。
- 3 「保存」をタップし、連絡先を保存する

連絡先を削除する

- 1 連絡先一覧画面で、連絡先をロングタッチする
- 2 「連絡先を削除」

「お気に入り」に登録する

よく使用する連絡先を、お気に入りとして登録できます。

- 1 連絡先一覧画面で、連絡先を選択する
- 2 連絡先詳細画面で、☆ をタップする

グループを作成する

- 1 連絡先一覧画面で、「グループ」→ ⋮ →「新しいグループ」
- 2 グループ名を入力する
- 3 「メンバー追加」→連絡先を選択→「追加」
- 4 「保存」をタップし、グループを保存する

カレンダー

カレンダーについて

カレンダーを使い、スケジュールを管理できます。

イベントを追加する

- 1 ○ → 「カレンダー」
- 2 日付を選択し、**+** をタップする
- 3 イベントを編集し、「保存」をタップする
 - イベントが含まれているカレンダーの日付をタップすると、ポップアップウィンドウが開き、イベントのリストが表示されます。ポップアップウィンドウからイベントをタップすると、イベントの詳細が表示されません。

イベントを同期する

⋮ → 「カレンダー表示」 → ⋮ → 「カレンダーを同期する」をタップし、同期するカレンダーを選択します。

メモ

- 端末で保存されたイベントをGoogleアカウントに登録すると、そのイベントは自動的にGoogleカレンダーにも同期されます。そこで、他のデバイスをGoogleカレンダーと同期すると、そのデバイスでも同じイベントが保持され、そのデバイスでもイベントを管理できるようになります。

イベントポケット

イベントポケットを使用して、イベントを作成できます。

📁 をタップするとイベントポケットが開くので、その内容をカレンダーの日付にドラッグします。

- 📁 : 画像、テキスト、ノート、および一時的に保存されたイベントを管理します。別のアプリからテキスト、画像、ノートを共有してイベントボックスに保存することもできます。イベントを作成するときに「ポケット」をタップすると、イベントはイベントポケットに一時的に保存されます。
- 📅 : イベントなど、期限のないタスクを管理します。

ファイルマネージャー

端末またはクラウドに保存されているファイルを表示したり管理することができます。

- 1 ○ → 「ツール」 → 「ファイルマネージャー」
- 2 ≡ をタップして目的の保存場所を選択する

タスク

スケジュールを容易に管理できるように、タスクを端末に登録できます。

- 1 ○ → 「ツール」 → 「タスク」
- 2 ⊕ をタップし、タスクを追加する
- 3 タスクを編集し、「保存」をタップする

Evernote

重要な情報を記述したり収集して、それらを「Evernote」に対応する他の端末と共有できます。

○ → 「Evernote」

LG Backup

端末に保存されたデータは、バックアップ、リストア、および移動できます。

- 1 ○ →「デバイス管理」→「LG Backup」
○ →「設定」→「一般」→「バックアップとリセット」→「LG Backup」をタップすると同じ操作ができます。
- 2 画面の指示に従って、データを端末のプリセットバックアップフォルダにバックアップするか、またはデータを別の端末にコピーするかを選択します。

注意

- 端末を初期化すると、内部ストレージに保存されたバックアップファイルが削除される可能性があります。データの損失を最小限に抑えるため、内部ストレージのLGバックアップフォルダから重要なバックアップファイルをPCまたは外部ストレージにコピーしてください。

メモ

- Google アカウントのデータはバックアップされません。Google アカウントを同期すると、Google アプリ、Google 連絡先、Google カレンダー、Google メモアプリデータ、および Play ストアからダウンロードしたアプリは自動的にドライブアプリに保存されます。
- バックアップファイルは、メモリーカードまたは内部ストレージのLGバックアップフォルダの下に「.lbf」というファイル拡張子付きで保存されます。
- データのバックアップまたはリストア中に意図せず電源がオフにならないように、実行前にバッテリーを充分充電してください。

SmartWorld

LGが提供するさまざまなゲーム、オーディオコンテンツ、アプリ、およびフォントをダウンロードできます。ホームテーマおよびフォントを使用して、好みに合わせて端末をカスタマイズしてください。

メモ

- モバイルデータ通信を使用すると、料金プランによってはデータの使用に料金が発生する可能性があります。
- サービスプロバイダー、またはエリアによっては、この機能に対応しない場合があります。

- 1 ○ → 「SmartWorld」
- 2 IDとパスワードを入力し、サインインする
- 3 ダウンロードする内容を選択する

Googleアプリ

Googleアカウントを設定してGoogleアプリを使用できます。Googleアプリを初めて使用すると、自動的にGoogleアカウント登録ウィンドウが表示されます。Googleアカウントがない場合は、端末から作成できます。アプリの使用方法の詳細は、アプリのヘルプを参照してください。

メモ

- サービスプロバイダー、地域や国によって、一部のアプリを使用できない場合があります。

Chrome

Chromeにサインインして、開いたタブ、ブックマーク、アドレスバーのデータをPCから端末にインポートします。

ドキュメント

ドキュメントを作成したり、オンラインまたは他の端末で作成したドキュメントを編集します。ドキュメントは相互に共有して編集できます。

ドライブ

端末からファイルを開いたり、アップロード、保存、共有、作成します。アプリからアクセス可能なファイルは、オンラインでもオフライン環境でも、どこからでもアクセスできます。

Gmail

GoogleのEメールアカウントを端末に登録して、Eメールを確認または送信します。

Google

キーワードを入力したり音声入力によって、Googleが提供する検索機能を使用して、Webサイトや端末に保存されているファイルを検索します。

ハングアウト

メッセージを交換します。個人やグループとテレビ電話ができます。

マップ

地図上で現在地や特定の場所の位置情報を検索します。地理情報を表示できます。

Playムービー&TV

Googleアカウントを使用して、映画をレンタルまたは購入します。どこでもコンテンツを購入して再生できます。

フォト

端末に保存された写真やアルバムを表示または共有します。

Play Music

「Playストア」から音楽ファイルを購入します。端末に保存された音楽ファイルを再生します。

スプレッドシート

スプレッドシートを作成したり、オンラインまたは他の端末で作成したスプレッドシートを編集します。スプレッドシートは相互に共有して編集できます。

スライド

プレゼンテーション素材を作成したり、オンラインまたは他の端末で作成したプレゼンテーション素材を編集します。プレゼンテーション素材は相互に共有して編集できます。

音声検索

キーワードを入力する代わりに、キーワードを音声入力してGoogleで情報を検索します。

YouTube

動画を検索して再生します。YouTubeに動画をアップロードして、世界中の人たちと共有できます。

基本設定

設定

本製品のカスタマイズと設定を行うことができます。

○ → 「設定」

メモ

- Q をタップして検索ボックスにキーワードを入力し、設定アイテムにアクセスします。
- ⋮ をタップして表示モードを変更します。本書では、タブ表示の手順で説明します。

ネットワーク

Wi-Fi

近くの使用可能なWi-Fi®ネットワークに接続します。

Wi-Fiネットワークに接続する

- 1 設定画面で、「ネットワーク」→「Wi-Fi」
- 2  をタップし、オンにする
 - 利用可能なWi-Fi®ネットワークが自動的に表示されます。
- 3 ネットワークを選択する
 - Wi-Fi®パスワードの入力が必要な場合があります。
 - 以前にアクセスしたことがあるWi-Fi®ネットワークでは、この手順はスキップされます。特定のWi-Fi®ネットワークに自動的に接続したくない場合は、ネットワークをロングタッチして「ネットワークの削除」をタップしてください。

Wi-Fiネットワークを設定する

設定画面で、「ネットワーク」→「Wi-Fi」

- **モバイルデータ切り替え**：モバイルデータ接続機能が有効な状態で、端末がWi-Fi®接続でインターネットに接続できない場合、自動的にモバイルデータ接続でインターネットに接続されます。
- **⋮**：Wi-Fi®ネットワークの設定をカスタマイズします。

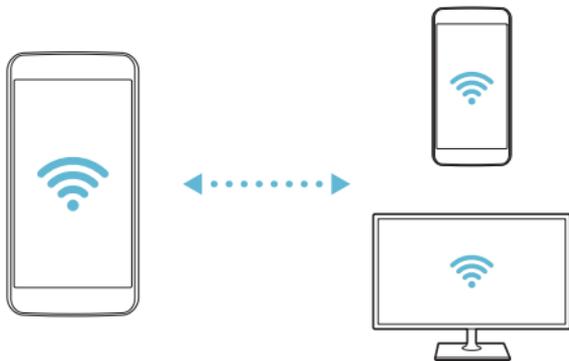
Wi-Fi Direct

この端末をWi-Fi Direct[®]に対応する他の端末と接続して、端末間で直接データを共有できます。アクセスポイントは必要ありません。Wi-Fi Direct[®]を使用して、3台以上の端末と接続できます。

- 1 設定画面で、「ネットワーク」→「Wi-Fi」→ ⋮ →「Wi-Fiの詳細設定」→「Wi-Fi Direct」
 - Wi-Fi Direct[®]に対応する近くのデバイスが自動的に表示されます。
- 2 デバイスを選択する
 - 端末で接続要求が承認されると、接続が確立されます。

メモ

- Wi-Fi Direct[®]を使用すると、バッテリーの消耗が早くなる可能性があります。



Bluetooth

この端末をBluetooth®に対応する近くのデバイスに接続して、データを交換できます。端末をBluetooth®ヘッドセットやキーボードに接続することもできます。これにより、端末をより簡単にコントロールできるようになります。

デバイスとペアリングする

- 1 設定画面で、「ネットワーク」→「Bluetooth」
- 2  をタップし、オンにする
 - ペアリングできるデバイスが自動的に表示されます。
 - デバイスリストを更新する場合、「検索」をタップします。

メモ

- 検索オプションが有効なデバイスのみがリストに表示されます。

- 3 リストからデバイスを選択する
- 4 画面の指示に従って、認証を実行する
 - 以前にアクセスしたデバイスでは、この手順はスキップされます。

Bluetoothでデータを送信する

- 1 ファイルを選択する
 - マルチメディアファイルまたは連絡先を送信できます。
- 2  → 「Bluetooth」
- 3 送信先のデバイスを選択する
 - 送信先の端末に承認されると、ファイルが送信されます。

メモ

- ファイルの共有処理は、ファイルによって異なる場合があります。

モバイルデータ

モバイルデータをオン／オフにできます。モバイルデータの使用量を管理することもできます。

モバイルデータをオンにする

- 1 設定画面で、「ネットワーク」→「モバイルデータ」
- 2 「モバイルデータ」の  をタップし、オンにする

モバイルデータの設定をカスタマイズする

- 1 設定画面で、「ネットワーク」→「モバイルデータ」
- 2 以下の設定をカスタマイズする
 - **モバイルデータ**：モバイルネットワークでデータ接続を使用するように設定します。
 - **モバイルデータ通信の制限設定**：制限に達するとモバイルデータをブロックするようにモバイルデータの使用量の制限を設定します。
 - **⋮**：モバイルデータの設定をカスタマイズします。

通話設定

音声電話や国際電話など機能設定をカスタマイズできます。

メモ

- サービスプロバイダーによっては、一部の機能に対応しない場合があります。

- 1 設定画面で、「ネットワーク」→「通話設定」
- 2 設定をカスタマイズする

ファイル共有

本製品と他のデバイスとの間でファイルを送受信できます。

メモ

- ・詳細は[ファイルを送受信する](#)をご参照ください。

- 1 設定画面で、「ネットワーク」→「共有と接続」→「ファイル共有」
- 2 以下の設定をカスタマイズする
 - ・ **デバイス名称**：端末の名前を変更します。
 - ・ **ファイル保存先**：他のデバイスから送信されたファイルを保存するための保存先フォルダを設定します。
 - ・ **ファイル共有**：他のデバイスから送信されたファイルの受信を許可します。
 - ・ **SmartShare Beam**：SmartShare Beamでファイルを他のデバイスと共有します。

メディアサーバー

端末のメディアコンテンツを、DLNAに対応する近くのデバイスと共有できます。

- 1 設定画面で、「ネットワーク」→「共有と接続」→「メディアサーバー」
- 2 以下の設定をカスタマイズする
 - **コンテンツ共有**：端末のコンテンツを近くのデバイスと共有します。
 - **デバイス名称**：端末の名前を設定します。
 - **共有するコンテンツ**：他のデバイスと共有するメディアコンテンツの種類を選択します。
 - **許可済みのデバイス**：本製品のコンテンツへのアクセスを許可されたデバイスのリストを表示します。
 - **非許可デバイス**：本製品のコンテンツへのアクセスを許可されていないデバイスのリストを表示します。

印刷

特定の画面の内容(Chromeに表示されたWebページなど)を、本製品と同じWi-Fi®ネットワークに接続されているプリンターに印刷できます。

- 1 画像やドキュメントを選択する
- 2 ∴ →「その他」→「印刷」→ ▼ →「すべてのプリンタ...」をタップし、プリンターを選択する

USBテザリング

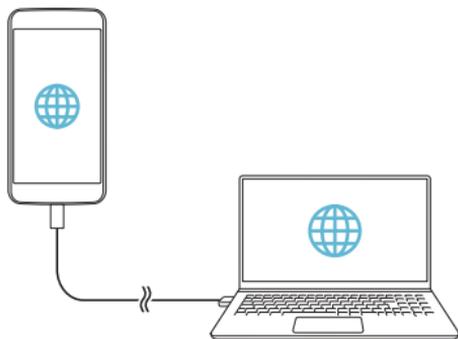
USBで端末を別のデバイスと接続して、モバイルデータを共有できません。

- 1 USBケーブルで端末を別のデバイスに接続する
- 2 設定画面で、「ネットワーク」→「テザリング」→「USBテザリング」の



メモ

- このオプションはモバイルデータを使用するため、料金プランによってはデータの使用に料金が発生する可能性があります。詳細は、サービスプロバイダーにお問い合わせください。
- PCに接続したら、www.lg.com から USB ドライバーを PC にダウンロードします。
- USB テザリングがオンの間は、端末と PC との間でファイルを送受信することはできません。ファイルを共有する場合は、USB テザリングをオフにしてください。
- テザリングに対応しているオペレーティングシステムは、Window XP 以降または Linux です。



Wi-Fiテザリング

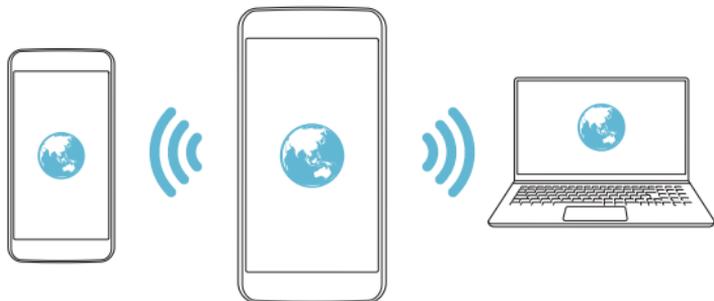
他のデバイスが本製品のモバイルデータを使用してインターネットに接続できるように、本製品をワイヤレスルーターとして設定できます。

- 1 設定画面で、「ネットワーク」→「テザリング」→「Wi-Fiテザリング」→

- 2 「Wi-Fiテザリング設定」をタップし、Wi-Fiアクセスポイント名(SSID)とパスワードを入力する
- 3 他のデバイスでWi-Fi®をオンにして、Wi-Fi®リストで本製品のネットワークの名前を選択する
- 4 ネットワークパスワードを入力する

メモ

- このオプションはモバイルデータを使用するため、料金プランによってはデータの使用に料金が発生する可能性があります。詳細は、サービスプロバイダーにお問い合わせください。
- 詳細については、下記のホームページをご参照ください。
<http://www.android.com/tether#wifi>



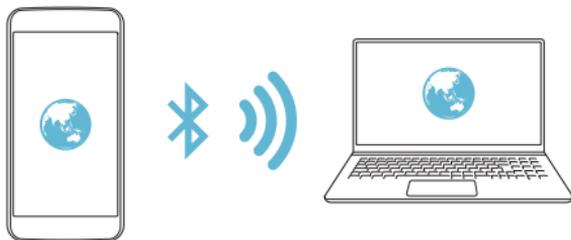
Bluetoothテザリング

Bluetooth®で接続されたデバイスは、本製品のモバイルデータを使用してインターネットに接続できます。

- 1 設定画面で、「ネットワーク」→「テザリング」→「Bluetoothテザリング」の
・両方のデバイスのBluetooth®をオンにして、ペアリングする

メモ

- ・このオプションはモバイルデータを使用するため、料金プランによってはデータの使用に料金が発生する可能性があります。詳細は、サービスプロバイダーにお問い合わせください。
- ・詳細については、下記のホームページをご参照ください。
http://www.android.com/tether#Bluetooth_tethering



ヘルプ

テザリングの使用方法について、ヘルプを参照できます。
設定画面で、「ネットワーク」→「テザリング」→「ヘルプ」

機内モード

通話とモバイルデータ機能をオフにすることができます。このモードがオンの場合でも、ゲームや音楽の再生など、データ通信に関係のない機能は引き続き利用できます。

- 1 設定画面で、「ネットワーク」→「その他」→「機内モード」
- 2 確認画面で、「ONにする」

モバイルネットワーク

モバイルデータ設定をカスタマイズします。

- 1 設定画面で、「ネットワーク」→「その他」→「モバイルネットワーク」
- 2 以下の設定をカスタマイズする
 - **モバイルデータ**：モバイルデータをオン／オフにします。
 - **データローミング**：海外でWebを閲覧したり、Eメール、マルチメディアメッセージ、その他のデータサービスを使用します。
 - **ネットワークモード**：ネットワークタイプを選択します。
 - **アクセスポイント名**：モバイルデータサービスを使用するアクセスポイントを表示または変更します。アクセスポイントを変更するには、アクセスポイントリストからアクセスポイントを選択します。
 - **ネットワークオペレーター**：ネットワーク通信事業者を検索してネットワークに自動的に接続します。

VPN

イントラネットなどの安全な仮想ネットワークに接続できます。接続した仮想プライベートネットワークを管理することもできます。

VPNを追加する

- 1 設定画面で、「ネットワーク」→「その他」→「VPN」

注意

- 画面ロック種類がセキュリティなしに変更する場合、端末に保存されたすべてのVPN情報が消去されるので注意してください。

- 2 「VPN接続の追加」

メモ

- 画面ロック種類がセキュリティなしの場合、通知画面が表示されます。通知画面から「設定」をタップして、画面ロック種類を設定してください。詳細は[画面ロックに関する設定](#)をご参照ください。

- 3 VPNの詳細を入力し、「保存」をタップする

VPNを設定する

- 1 「VPNS」リストからVPNを選択する
- 2 VPNユーザーアカウントの詳細を入力して、「接続」をタップする
 - 「アカウント情報の保存」を選択すると、保存するアカウントの詳細を確認できます。

サウンド&お知らせ

サウンド、バイブ、および通知設定をカスタマイズできます。

設定画面で、「サウンド&お知らせ」をタップし、以下の設定をカスタマイズします。

- **サウンドプロフィール**：サウンドプロフィールを設定できます。「サウンド」と「バイブレートのみ」または「サイレント」から選択してください。
- **音量**：本製品の音量を、好みや環境に応じた値に設定します。
- **着信音**：電話の着信音を設定できます。また、着信音を追加／削除することもできます。
- **着信音ID**：特定の連絡先から電話を着信したときの着信音を作成します。詳細は**着信音ID**をご参照ください。
- **サウンドとバイブ**：バイブと着信音の再生を同時に行うように端末を設定します。
- **振動タイプ**：バイブの種類を選択したり、独自のバイブのパターンを作成できます。
- **通知制限**：通知メッセージを受信する時刻、範囲、アプリの種類を設定します。通知メッセージを特定の曜日のみを受信します。詳細は**通知制限**をご参照ください。
- **画面ロック時**：ロック画面に通知メッセージを表示または非表示にします。
- **アプリ**：画面に通知メッセージを表示できるアプリを選択して、通知メッセージに関するアプリの優先度を設定します。
- **その他** → **通知音**：通知音を設定できます。端末に保存している音楽を通知音に設定できます。
- **その他** → **タップ時のバイブ**：画面の特定のアイテムをタップしたときに端末が振動するように設定します。
- **その他** → **サウンドエフェクト**：タップしてキーパッド音、タッチ音、画面ロック時の音などを設定します。

- **その他** → **メッセージ／着信の音声通知**：発信者情報またはメッセージの内容を読み上げるように端末を設定します。

表示

スクリーンタイプの詳細設定をカスタマイズできます。

設定画面で、「表示」をタップし、以下の設定をカスタマイズします。

- **セカンドスクリーン**：セカンドスクリーンの設定をカスタマイズします。詳細は**セカンドスクリーン**をご参照ください。
- **ホームスクリーン**：ホーム画面の設定をカスタマイズします。詳細は**ホーム画面**をご参照ください。
- **画面のロック**：ロック画面の設定をカスタマイズします。詳細は**画面ロック**をご参照ください。
- **ホームタッチボタン**：ホームタッチボタンを並べ替えたり、背景色を変更します。アプリ画面でホームタッチボタンを非表示にします。
- **フォントタイプ**：フォントタイプを変更します。
- **フォントサイズ**：フォントサイズを設定します。
- **太字表示**：画面上のテキストを太字で表示します。
- **画面の明るさ**：スライダーでディスプレイの明るさを調整します。
- **自動**：周囲の明るさに合わせて画面の明るさが自動的に調整されるように端末を設定します。
- **縦横表示の自動回転**：端末の向きによって画面を自動的に回転します。
- **バックライト点灯時間**：画面が自動的にオフになるまでの時間を設定します。
- **その他** → **スクリーンセーバー**：端末をホルダーに接続したときまたは充電中にスクリーンセーバーを表示します。表示するスクリーンセーバーの種類を選択します。
- **その他** → **センサー感度補正**：センサーの感度(傾斜角や速度)の精度を向上させます。

メモ

- ・モーションセンサーを補正するときは、必ず端末を平らな場所に置いてください。画面の自動回転などでモーションセンサー関連のエラーが発生する可能性があります。

一般

言語とキーボード

端末上の言語とキーボードの設定をカスタマイズできます。

- 1 設定画面で、「一般」→「言語とキーボード」
- 2 以下の設定をカスタマイズする
 - ・**言語**：端末で使用する言語を選択します。
 - ・**現在のキーボード**：現在使用中のキーボードタイプを表示します。テキストを入力するときに使用するキーボードを選択します。
 - ・**iWnn IME**：iWnn IMEキーボードの設定をカスタマイズします。
 - ・**Google音声入力**：Googleの音声入力のオプションを設定します。
 - ・**音声出力**：テキスト読み上げオプションを設定します。
 - ・**ポインター速度**：マウスまたはトラックパッドとのポインターの速度を調整します。
 - ・**ボタンの切替**：基本的な操作を直接実行できるようにマウスの左右のボタン機能を切り替えます。

位置情報

特定のアプリから位置情報にアクセスできるように設定をカスタマイズできます。

- 1 設定画面で、「一般」→「位置情報」
- 2 以下の設定をカスタマイズする
 - **モード**：位置情報を提供する方法を選択します。
 - **最近の位置情報リクエスト**：最近位置情報を要求したアプリを表示します。
 - **カメラ**：写真または動画を撮影するときに位置情報を保存します。
 - **Googleロケーション履歴**：Google位置情報の履歴を設定します。

アカウントと同期

Googleアカウントなどのアカウントを追加または管理できます。特定のアプリやユーザー情報を自動的に同期することもできます。

- 1 設定画面で、「一般」→「アカウントと同期」
- 2 以下の設定をカスタマイズする
 - **データ自動同期**：すべての登録アカウントを自動的に同期します。
 - **アカウント**：登録アカウントのリストを表示します。アカウントの詳細を表示または変更するには、アカウントをタップします。
 - **アカウントを追加**：アカウントを追加します。

ユーザー補助

端末にインストールされたユーザー補助プラグインを管理できます。

1 設定画面で、「一般」→「ユーザー補助」

2 以下の設定をカスタマイズする

- **見る** → **TalkBack**：画面のステータスや操作を音声で通知するように端末を設定します。
- **見る** → **メッセージ／着信の音声通知**：発信者情報またはメッセージの内容を読み上げるように端末を設定します。
- **見る** → **フォントサイズ**：フォントサイズを設定します。
- **見る** → **太字表示**：画面上のテキストを太字で表示します。
- **見る** → **タッチズーム**：画面を3回タップすると拡大または縮小します。
- **見る** → **色の反転**：弱視のユーザー向けにディスプレイの色のコントラストを上げます。
- **見る** → **色調調整**：ディスプレイの色を調整します。
- **見る** → **グレイスケール**：グレイスケールモードに変更します。
- **見る** → **電源キーで終話**：「電源／ロックキー」を押して通話を終了します。
- **聞く** → **キャプション**：耳の不自由なユーザー向けに動画の再生時の字幕サービスをオンにします。
- **聞く** → **フラッシュお知らせ**：電話の着信または通知があったときに光を点滅して通知するように端末を設定します。
- **聞く** → **サウンドOFFモード**：すべての音をオフにして受話音量を下げます。
- **聞く** → **音声形式**：音声形式を選択します。
- **聞く** → **音声バランス**：オーディオ出力のバランスを調整します。スライダーを使用して、バランスを変更します。

- **動作と認識** → **Touch assistant**：ボタンやジェスチャーを使いやすいようにタッチモードをオンにします。
- **動作と認識** → **長押し感知までの時間**：タッチ入力時間を調整します。
- **動作と認識** → **長押しで着信に応答**：通話ボタンをドラッグする代わりにロングタッチして電話に応答または拒否します。
- **動作と認識** → **バックライト点灯時間**：画面が自動的にオフになるまでの時間を設定します。
- **動作と認識** → **タッチ操作エリア**：タッチ入力で画面の特定の場所のみをコントロールできるようにタッチエリアを制限します。
- **ユーザー補助機能のショートカット**：○を3回タップして、よく使用する機能に素早くアクセスします。
- **縦横表示の自動回転**：端末の物理的な配置によって、画面の向きを自動的に変更します。
- **スイッチアクセス**：端末をコントロールするキーの組み合わせを作成します。

ショートカットキー

画面がオフまたはロックされているときに「音量キー \parallel \parallel 」を使用して直接アプリを起動できます。

1 設定画面で、「一般」→「ショートカットキー」

2 をタップし、オンにする

- 画面がオフまたはロックされているときに、「音量を下げるキー \parallel 」を2回押すとカメラアプリが起動します。「音量を上げるキー \parallel 」を2回押すと、キャプチャー+が起動します。

Googleサービス

Google設定を使用して、Googleアプリやアカウント設定を管理できます。

設定画面で、「一般」→「Googleサービス」

セキュリティ

1 設定画面で、「一般」→「セキュリティ」

2 以下の設定をカスタマイズする

- **コンテンツロック**：「ギャラリー」または「Qメモ+」でファイルをロックする方法を設定します。
- **携帯端末を暗号化**：プライバシー保護のため、端末のパスワードを設定します。端末をオンにするたびに入力するPINまたはパスワードを作成します。詳細は**端末を暗号化する**をご参照ください。
- **SDカードの暗号化**：他のデバイスで使用されないようにメモリーカードを暗号化します。詳細は**メモリーカードの暗号化**をご参照ください。
- **UIMカードのロック設定**：nanoSIMカードをロックまたはロック解除したり、パスワード(PIN)を変更します。
- **パスワードを表示する**：入力時に、パスワードを表示します。
- **デバイス管理機能の選択**：端末のコントロールまたは使用を制限する権限を特定のアプリに許可します。
- **提供元不明のアプリ**：Playストア以外から提供されたアプリのインストールを許可します。
- **アプリを確認する**：有害なアプリのインストールをブロックします。有害なアプリがインストールされたときに警告メッセージを表示します。
- **証明書の保護**：セキュリティ証明書を保存する場所のストレージの種類を表示します。
- **証明書の管理**：端末に保存されたセキュリティ証明書を管理します。

- **信頼できるエージェント**：端末にインストールされた信頼できるエージェントを表示および使用します。
- **画面の固定**：現在のアクティブアプリのみを使用できるように、アプリ画面を固定します。
- **アプリの使用履歴へのアクセス**：端末のアプリの使用量の詳細を表示します。

日付と時刻

端末上の日付と時刻を設定できます。

- 1 設定画面で、「一般」→「日付と時刻」
- 2 設定をカスタマイズする

ストレージとUSB

端末の内部ストレージまたはメモリーカードのストレージ容量を表示および管理します。

- 1 設定画面で、「一般」→「ストレージとUSB」
- 2 以下の設定をカスタマイズする
 - **本体ストレージ**：端末の内部ストレージの合計容量および空き容量を表示します。使用中のアプリおよび各アプリのストレージ容量のリストを表示します。
 - **ポータブルストレージ**：メモリーカードの合計容量および空き容量を表示します。このオプションは、メモリーカードが挿入されている場合のみ表示されます。メモリーカードのマウントを解除するには、△をタップします。

バッテリーとパワーセーブ

現在のバッテリー情報を表示したり、バッテリーセーブモードをオンにすることができます。

- 1 設定画面で、「一般」→「バッテリーとパワーセーブ」
- 2 以下の設定をカスタマイズする
 - **バッテリー消費量**：バッテリー使用量の詳細を表示します。詳細を表示するには、特定のアイテムを選択します。
 - **ステータスバーに表示**：電池残量(%)をステータスバーに表示します。
 - **バッテリーセーブ**：ディスプレイの明るさ、動作速度、バイブの強度など、一部の端末の設定を小さくして、バッテリーの消費を抑えます。バッテリーセーブモードがオンの場合、ステータスバーに  が表示されます。

メモリー

一定時間当たりの平均メモリー使用量およびアプリが占有するメモリー量を表示することができます。

- 1 設定画面で、「一般」→「メモリー」
- 2 ▼ をタップし、データを取得する時間帯を設定する

アプリ

インストール済みアプリのリストを表示できます。必要に応じて、アプリを終了または削除できます。

- 1 設定画面で、「一般」→「アプリ」
- 2 アプリを選択して、操作を実行する

バックアップとリセット

端末に保存されたデータを別の端末またはアカウントにバックアップできます。必要に応じて、端末をリセットします。

1 設定画面で、「一般」→「バックアップとリセット」

2 以下の設定をカスタマイズする

- **LG Backup**：端末に保存されたすべてのデータをバックアップおよびリストアします。詳細は**LG Backup**をご参照ください。
- **データのバックアップ**：アプリデータ、Wi-Fi[®]パスワード、およびその他の設定をGoogleサーバーにバックアップします。
- **バックアップアカウント**：現在使用中のバックアップアカウントを表示します。
- **自動リストア**：アプリを再インストールしたときにバックアップの設定およびデータを自動的にリストアします。
- **ネットワーク設定リセット**：Wi-Fi[®]、Bluetooth[®]、およびその他のネットワーク設定をリセットします。
- **データの初期化**：端末のすべての設定をリセットし、データを削除します。

メモ

- 端末をリセットすると、すべてのデータが削除されます。端末の名称、Google アカウント、およびその他の初期情報を再度入力してください。

端末情報

名称、ステータス、ソフトウェアの詳細、法定情報などの端末に関する情報を表示できます。

設定画面で、「一般」→「端末情報」をタップし、表示された内容を確認してください。

規制と安全に関する情報

端末の規制検印および関連情報を表示できます。

設定画面で、「一般」→「規制と安全に関する情報」をタップします。

言語設定

端末の言語を選択します。

- ○ → 「設定」 → 「一般」 → 「言語とキーボード」 → 「言語」をタップし、言語を選択します。

ソフトウェアの更新

本端末のみで簡単に新バージョンに更新できます。この機能は当社が本製品の新しいソフトウェアを公開した場合にのみ利用可能になります。

ホーム画面で「設定」 → 「一般」 → 「端末情報」 → 「更新センター」 → 「ソフトウェアアップデート」 → 「アップデートを確認」と操作して、ソフトウェア更新が必要かどうかを確認してください。

メモ

- 本製品の内部ストレージに保存された個人データは、Googleアカウントやその他のアカウントに関する情報、システムやアプリのデータと設定、ダウンロードしたアプリ、DRMライセンスなどを含め、本製品のソフトウェアを更新する際に失われる場合があります。そのため、本製品のソフトウェア更新前に、個人データをバックアップすることをお勧めします。当社は個人データの紛失について一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- この機能は、ネットワークサービスプロバイダー、地域や国によって異なります。
- 本機能を利用したソフトウェア更新は、お客様のご契約通信容量を使用することになります。そのため、ご自宅などWi-Fi[®]環境での更新をお勧めいたします。なお、本機能を使用したことによる通信料の補填等、保証は致しかねますのでご了承ください。

同梱物

以下のものがすべて揃っていることを確認してください

- 携帯電話本体
- SIM 取り出しピン
- AC アダプタ
- USB ケーブル
- 保証書
- クイックスタートガイド

警告

- 上記のいずれかのアイテムはオプションの場合があります。
- 同梱物は、地域またはサービスプロバイダーによって異なる場合があります。
- 必ず純正の周辺機器をご利用ください。他のメーカーで製造された周辺機器を使用すると、端末の通話のパフォーマンスに影響したり、故障の原因となる場合があります。これは、保証の対象外となる場合があります。

メモ

- これらの基本アイテムのいずれかがない場合、J:COM MOBILE専用ダイヤルにお問い合わせください。
- 製品に同梱の一部のアイテムは、予告なしに変更することがあります。
- 端末の外観および仕様は予告なしに変更することがあります。

こんなときは

この章では、本製品をお使いの際に想定されるいくつかの問題を示しています。お問い合わせいただく必要のある問題もありますが、お客様ご自身で解決いただけるものもあります。

製品でお困りのことがありましたら、まずは本章をご確認ください。

想定される問題	考えられる原因	対処方法
nanoSIMカードが認識されない	nanoSIMカードが本製品に挿入されていないか、誤って挿入されている	nanoSIMカードが正しく挿入されていることを確認してください。
ネットワークに接続できない	電波が弱い、ネットワークの外にいる	窓の近く、または広い空間に移動してください。ネットワークオペレーターの対応範囲をご確認ください。
PINコードが認識されない	セキュリティコードを変更するときに、再入力したPINコードが間違っている	PINコードをお忘れの場合、J:COM MOBILE専用ダイヤルにお問い合わせください。
	登録したPINコードと入力したPINコードが間違っている	
アプリを設定できない	サービスプロバイダーが対応していないか、登録が必要	サービスプロバイダーにお問い合わせください。

想定される問題	考えられる原因	対処方法
ダウンロードしたアプリにより、多数のエラーが発生する	ダウンロードしたアプリの不具合	<ol style="list-style-type: none"> ○ → 「設定」 「一般」 → 「アプリ」 アプリをタップ → 「アンインストール」
電話がかけられない／受けられない	番号の入力違い	正しい電話番号を入力してください。
	別のnanoSIMカードが挿入された	nanoSIMカードのご契約内容、MNP切り替え、有効化されているかをご確認ください。
電源が入らない	「電源／ロックキー」を押す時間が短すぎる	「電源／ロックキー」を2秒以上押してください。
	内蔵電池が充電されていない	充電してください。正しくACアダプタとUSBケーブルが接続されていると、ステータスバーに  が表示されます。
充電できない	外気温が高すぎる／低すぎる	本製品が通常の温度で充電されていることを確認してください。
	接触の問題	ACアダプタ・USBケーブルと本製品との接続を確認してください。
	電圧の不足	他のコンセントに接続してください。
	ACアダプタ・USBケーブルの故障	ACアダプタまたはUSBケーブルを交換してください。
	不適切なACアダプタ・USBケーブル	当社指定のACアダプタとUSBケーブルをお使いください。

想定される問題	考えられる原因	対処方法
メッセージや画像が送れない	メモリが不足している	アプリやメッセージなど不要なデータを削除してください。
ファイルが開けない	サポートされていないファイル形式	サポートされているファイル形式をご確認ください。
着信通話中、画面が切り替わらない	近接センサーに問題がある	保護テープまたは保護ケースをお使いの場合、近接センサー付近の領域を覆っていないかご確認ください。また、近接センサー付近の領域がきれいになっていることを確認してください。
音声がでない	バイブレーションモードになっている	「サウンド & お知らせ」の設定を確認し、調整してください。
使用中アプリが終了する現象が発生	使うアプリを通じて発熱し、低温やけどおよび端末の故障を防止するために使用中のアプリを終了する	しばらくして端末の温度が下がれば正常に使用できます。
フロントカメラ(自分撮り)の映像が不鮮明	範囲外の距離で撮影している場合、不鮮明に映る可能性がある	自分撮り時の推奨距離は50~60cmです。この範囲で撮影してください。
	お使いの環境によりノイズの発生または不鮮明に映る場合がある	フラッシュを使用するか、または明るい環境にて撮影してください。

想定される問題	考えられる原因	対処方法
<p>連絡先アプリで設定した通知音がメッセージ受信時に反映されない</p>	<p>メッセージアプリのストレージの権限が無いため、発生する可能性がある</p>	<p>新しいOSからアプリの権限を取得するためには、アプリの権限を許可する必要があります。</p> <p>○ → 「設定」 → 「一般」 → 「アプリ」 → 「メッセージ」 → 「許可」 → 「ストレージ」の  をタップし、オンにしてください。</p> <p>または、アプリを起動して許可することもできます。</p> <p>○ →  →  → 「設定」 → 「通知」 → 「通知音」 → 「許可」 → 「OK」をタップしてください。</p>
<p>電池の持ちが悪い</p>	<p>多数のアプリまたは機能を同時に連続的に実行している</p>	<p>バックグラウンド操作をキャンセルしてください。</p> <p>詳細は効率よくバッテリーを使用するをご参照ください。</p>

